



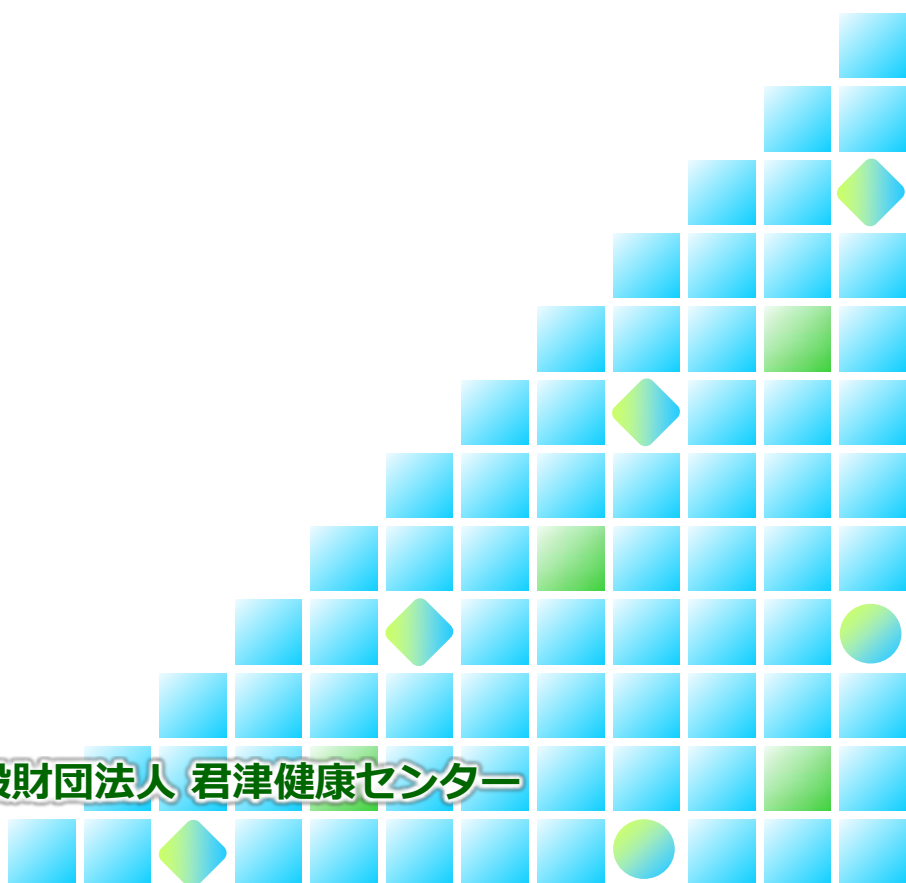
2020年度

事業年報

やさしさでつながる 健康と笑顔



一般財団法人 君津健康センター



ご挨拶

一般財団法人
君津健康センター

理事長 三浦 正巳



一般財団法人君津健康センターは、1988年、健康診断、保健指導、作業環境測定、労働衛生管理等を通して、新日本製鐵（株）君津製鐵所をはじめ、関連、協力会社、さらに地域社会に密着した民間企業ならびに地域一般住民の健康を守ることを目的に設立されました。

私が当センターに赴任してから15年が経ちます。この間、センターを取り巻く環境が大きく変わりました。設立当時は財団法人としてスタートしましたが、2012年に公益法人改革関連法改正により、一般財団法人に移行しました。

健康診断事業では、行政機関の健康診断が競争入札に移行し、特定健康診査、特定保健指導が始まりました。

職場環境も時代とともに変化し、特にストレスに代表される精神的負担に対し、専門的知識を備え、対処することが必要不可欠となりました。いわゆるメンタルヘルスが現在、重要な課題となっています。

さらに、今年度は新型コロナウイルス感染症の対応に苦慮いたしました。一時、健康診断を中止せざるを得ない状況となりましたが皆様のご努力、ご協力を得て、ほぼ予定通りの事業を行うことができました。本当にありがとうございました。

当センターは設立当時より、「健康を守り、社会に貢献する」という理念を一貫して持ち続けております。

これからも地域、企業の人々に信頼されるよう、質の高いサービスの提供を継続し、健康の保持増進、快適な職場の環境づくりを全力で支援してまいります。

この度、2020年度の君津健康センター事業年報を取り纏めました。活動を振り返ることで翌年度の課題を確認し、業務の改善に取り組む所存でございます。

健康で幸福な生活を送ることはすべての人々の願いです。皆様のご健康を祈願するとともに、これからも当センターを育てて頂ければ幸甚です。

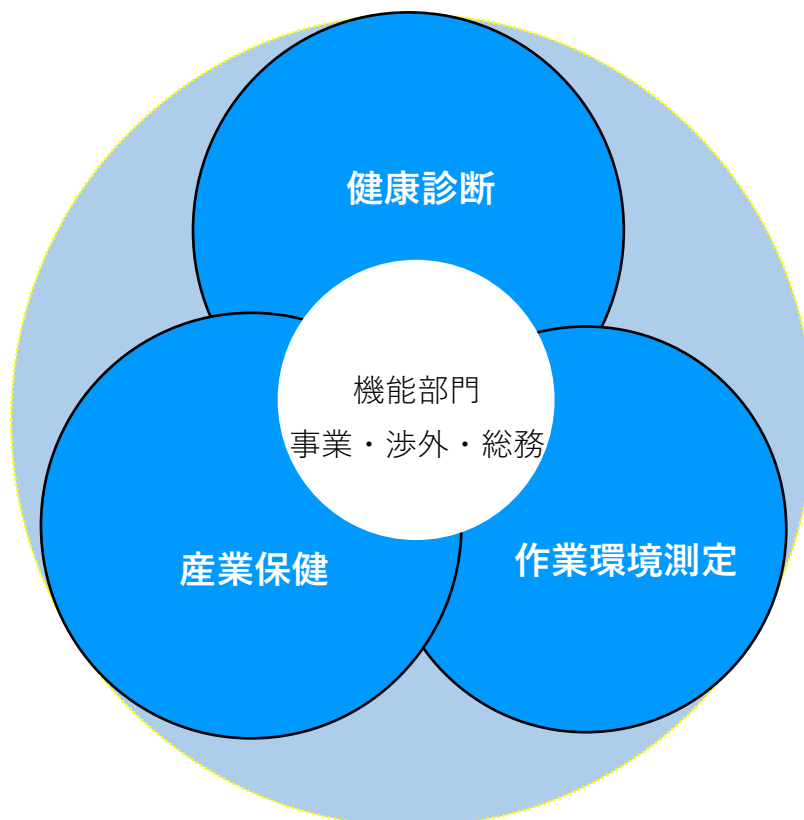
< 基本理念 >

1. 私たちは、お客様の健康保持増進のお手伝いを通して社会に貢献いたします。
2. 私たちは、労働衛生機関のプロフェッショナルとしての誇りをもち、精度の高い技術をお客様に提供いたします。
3. 私たちは、健康で明るく働きがいのある職場をつくります。

< 基本方針 >

- < 法令遵守 > 法令・規則を遵守し、社会的規範となるセンターを目指します。
- < 個人情報保護 > 個人情報保護、リスクマネジメントの実施により、情報のセキュリティとお客様のプライバシーを守ります。
- < 品質保証 > 精度管理活動に取り組み、高品質なサービスの提供に努めます。
- < 自己研鑽 > 自己研鑽に励むとともに、次世代の人材を育てます。

事業は健康診断・産業保健・作業環境測定の3つで構成



特徴

- ①作業職場の環境把握、健康診断で個人評価、保健指導で一貫した健康管理が可能。
- ②鉄鋼業の健康管理部門として培った経験より、各種の作業環境への対応力を蓄積。
- ③培った技術が評価され企業・団体・個人（地域）からの依頼が増える傾向。

目次

ご挨拶

基本理念・基本方針・事業の構成・特徴

1. 2020年度を振り返って	・ ・ 1
1. 1. 当センター事業全般並びに周辺環境について	
1. 2. 各事業活動について	
(1) 健康診断事業	
(2) 産業保健活動	
(3) 作業環境測定事業	
1. 3. 当センターにおける「新型コロナウイルス感染防止対策への取り組み」	
(1) 新型コロナウイルス感染症対策の概要	
1) 感染症対応行動指針の見直し	
2) 危機管理体制	
3) 主な感染拡大防止対策	
4) 主な取り組みスケジュール	
1. 4. その他トピックス等	
(1) 設備更新計画	
(2) 認知度向上への取り組み	
(3) 優良施設等認定事業への参加	
2. 2020年度 健康診断実施状況および統計	・ ・ 6
2. 1. 事業別割合	
2. 2. 健康診断会場別実施状況	
2. 3. 年齢階層、性別受診状況	
2. 4. 健診種類別実施状況	
2. 5. 特殊健康診断実施状況	
2. 6. 定期健康診断受診結果と集計（項目別の有所見率）	
2. 7. がん検診受診結果	
2. 8. がん検診追跡調査	
2. 9. 各種精度管理事業	
3. 健康体力づくりに関する事業実績	・ ・ 17
3. 1. 健康体力づくり事業実績	
3. 2. 高齢者医療確保法に基づく特定保健指導実績	
3. 3. 健康相談実績	
3. 4. 集合教育実績	
3. 5. 調査研究および教育活動実績	
3. 6. 広報啓発活動実績	
4. 作業環境測定事業	・ ・ 26
4. 1. 作業環境測定の実施状況	
4. 2. 作業環境測定種類の実施状況	
4. 3. 作業環境測定種類別管理区分の状況	
4. 4. 付録資料	

5. 2020年度事業概況	・ ・ 3 5
5. 1. 当センターの事業収入全般	
5. 2. 健康診断事業に関する収入	
5. 3. 診療に関する事業収入	
5. 4. 保健福祉に関する事業収入	
5. 5. 労働衛生管理コンサルティングに関する事業収入	
5. 6. 作業環境測定に関する事業収入	
5. 7. その他の事業収入	
5. 8. 健康体力づくりに関する事業収入	
6. 法人の概要	・ ・ 4 1
6. 1. 当センターの沿革	
6. 2. 事業登録・事業指定	
6. 3. 役員について・職員について	
6. 4. 組織機構と業務分掌	

1. 2020年度を振り返って

1. 2020年度を振り返って

1. 1. 当センター事業全般並びに周辺環境について

2019年中国を起点とし、全世界に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症がパンデミックと認識され、多くの方々が罹患し死亡に至るケースも多数発生しております。

当センターも新型コロナウイルス感染症に対し、時々刻々と変化する情報も踏まえ、その都度全員で対策をたて、顧客皆様のご理解・ご協力の元、現在までなんとか乗り越えることができております。

2020年度は4月から5月にかけて緊急事態宣言に基づき健康診断事業を一時中断いたしました。中断した期間には、健康診断事業再開に向けた各種対策の整備を進め、6月より健康診断事業を再開することができました。

中断により当該期間に予定していた健康診断については、顧客である事業者と協議し実施時期について調整することで、計画した健康診断の実施に努めてまいりました。

また、当センターの主要な事業である産業保健活動においても、新型コロナウイルス感染症対策により中止を余儀なくされるケースも発生し、従来は直接対面して実施していた方法に対し Web 会議等を活用した新たな方法を導入して、顧客・事業者の要求に応えるべくウィズコロナの観点で改善も進めてまいりました。

2021年度に入っても新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種等が進むものの、収束の目途が立たない状況が継続しており、2020年度で培った各種対策を着実に実践することに注力しつつ顧客・事業者のご要望に応えるべく努力を継続してまいります。

常日頃より顧客の皆様から賜っているご理解とご協力、そして職員の献身的な努力の甲斐もあり2020年度の当センター事業はコロナ禍の影響は受けたものの、ほぼ計画通りに進捗した成果を出すことができました。

1. 2. 各事業活動について

(1) 健康診断事業

健康診断事業（施設健診と巡回健診）では、4月7日に緊急事態宣言が7都道府県に発令され、健康診断についての実施について行政等からの通知も踏まえ4月13日より健康診断を一時中止しました。更に5月4日には緊急事態宣言の適用期間が5月31日まで延長され、健康診断も中止を継続することとし、中止の期間において再開に向け各種の対策整備を進めました。当センターの危機管理体制の元、感染拡大防止にむけた対策を整備するとともに、健診再開に向けて職員による模擬健康診断も実施して手順を再確認した上で徹底しました。

健康診断再開後には、中止期間の未受診者を含めた人数に対する健康診断の実施が必要なので、顧客にもご協力をいただき、「入館前の手洗い・消毒、体調チェック、検温」を行うとともに、3密を避けるべく施設館内に滞留する人数の制限を実施しており、現在も継続して新型コロナウイルス感染拡大防止に努めております。

2020年度の健診受診者数並びに収入については、健診再開後に未受診者も含め健診実施に努めてきた効果もありほぼ計画通りまで回復いたしました。

引き続き、顧客のニーズに的確に対応した健康診断を提供すべく、顧客からのご意見・ご要望への対応を大切に丁寧な健康診断を推進してまいります。

(2) 産業保健活動

産業保健活動として取り組む産業医活動については、計画並びに対前年度で件数・収入ともに向上いたしましたが、労働衛生教育については大幅に減少いたしました。

労働衛生教育では、集合研修について顧客と協議の上中止したことが減少の主な理由です。また、2020年度は指導・相談・面談においては新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ Web の活用、DVD の提供などの対応を進め、顧客のニーズに応えるべく仕事の方法について改善を進めた一年となり、各種のツールを用いた対応強化について継続推進してまいります。

(3) 作業環境測定事業

作業環境測定事業は、測定件数並びに収入については計画通りの結果を残すことが出来ました。日本製鉄（株）東日本製鉄所君津地区並びに関連・協力企業各社より測定依頼を受け、多種多様な環境測定項目について適正な分析結果を提供するとともに測定事後支援の提言も実施し、測定・分析・評価における技術の蓄積を図ってまいりました。また、法改正（溶接ヒュームに対する個人暴露測定等）への準備も進めてまいりました。

2021年度も一般企業を含め各種製造現場に対し、培ってきた経験を活かすとともに法改正にも適切な対応を進めてまいります。

1. 3. 当センターにおける「新型コロナウイルス感染防止対策への取り組み」

(1) 新型コロナウイルス感染症対策の概要

1) 感染症対応行動指針の見直し

2020年1月14日WHOにて新型コロナウイルス感染症が確認されたことも踏まえ、1月23日より既存感染症対応行動指針の見直しに着手し、新たに設けた感染症対策本部での確認を経て2月「感染症の流行に際した事業及び職員の行動に関する指針（以下、「指針」という。）」を制定しました。この指針では、危機管理体制・情報の収集と提供・感染予防策・要管理者となった職員への就業上の措置・事業の継続態勢等を定めました。

2) 危機管理体制

指針に基づき、COVID-19 対策本部会議（以下「対策本部」という。）を設置し、センターの感染症対策について随時検討し、その都度施策を定めて取り組みました。4月の緊急事態宣言発令を受け、対策本部は緊急対策検討会に引き継がれ6月までに計24回実施しました。センター関係者が対策本部で議論し一丸となった取り組みもでき、現在も検討結果を反映した施策を継続維持しております。

3) 主な感染拡大防止対策

①消毒の徹底

- ・手指消毒、医療機器の消毒、施設内什器等の消毒の徹底
- ・センター入館前に屋外手洗い場を設置し、入館前での消毒を強化 他

②ソーシャルディスタンス（必要距離）の確保

- ・センター入館前の整列と必要距離の確保
- ・センター内受診者状況に応じた入館制限の実施
- ・入館前から職員による誘導の実施 他

③3密回避対策と管理

- ・3密回避のためセンター内滞留人数上限を設定（最大140名、基準100名以下）
- ・15分当たりの入館人数制限と入館時間帯毎での入館人数の把握
- ・センター内滞留人数（計算に基づく）のチェック&アクション 他

④模擬健康診断による健診手順の検証と健診事業実証確認

- ・第1回緊急事態宣言を受けて健康診断を中断
- ・再開準備として模擬健康診断を実施（2020年4月30日）、手順・マニュアルを確認し見直し実施。
- ・2020年5月下旬には、第1回緊急事態宣言解除を想定し、一部顧客の協力の元健康診断の実証も行いました。

4) 主な取り組みスケジュール

ステージⅠ：2020年1月から3月まで

指針の制定、危機管理体制の整備と対策本部による各種施策の実行推進等

ステージⅡ：2020年4月から5月まで

緊急事態宣言に基づき健康診断事業を一時中断、再開に向けた各種対策の整備、
模擬健康診断、健康診断実証による安全性確保を検証

ステージⅢ 2020年6月より健康診断事業再開

1. 4. その他トピックス等

(1) 設備更新計画

事業基盤の安定化では設備保全・設備改善が重要です。当センターも2019年度から中長期的な視点に立った設備保全計画を策定し、2020年度から運用を開始しました。

2020年度は、施設空調設備の設置工事、並びに作業環境測定機器の更新を行いました。

また、同年度にはセンターリフレッシュ工事計画が成案化し予算化でき、2021年度4月から2022年度の上期の期間をかけ屋根防水工事・外壁補修工事・塗装工事を進める予定です。

引き続き、顧客・従業員が快適に健康診断を受ける環境づくりを進めてまいります。

（２）認知度向上への取り組み

２０１９年度より取り組んできました当センターのホームページリニューアルについては、２０２０年１１月に完成し一般公開することができました。特に制作にあたっては、「やさしさでつながる健康と笑顔」のメッセージを添え、分かりやすくそして親しみやすく、安心して利用できるサイトを目指し、内容もより充実したものいたしました。

健康診断事業、産業保健活動、作業環境測定事業について、ホームページを通じて最新の情報提供とともに、顧客皆様のニーズにあった情報発信を引き続き行ってまいります。

（３）優良施設等認定事業への参加

当センターは、地域や企業のみなさまに信頼される健診機関として、精度管理、施設設備、健診技術等所定の基準を満たし、質の高いサービス提供を継続すべく、評価認定事業に参加しております。

２０２０年度には、一般社団法人日本総合健診医学会より「優良総合施設認定（認定期間：２０２０年４月１１日～２０２３年３月３１日）」に認定されました。

更に、公益社団法人全国労働衛生団体連合会による労働衛生サービス機能評価認定オンライン調査を２０２１年２月に受け「労働衛生サービス機能評価（認定期間：２０２１年６月１日～２０２４年５月３１日）」の認定が決まりました。

引き続き各種精度管理調査を通じてサービスの質の向上・維持に努めてまいります。

最後になりますが、これからも皆様のニーズに応えるべく、コミュニケーションを通じた連携を強化して信用・信頼を大切にした事業運営を進めてまいります。

事務局長 小柳 健

2. 2020年度

健康診断実施状況および統計

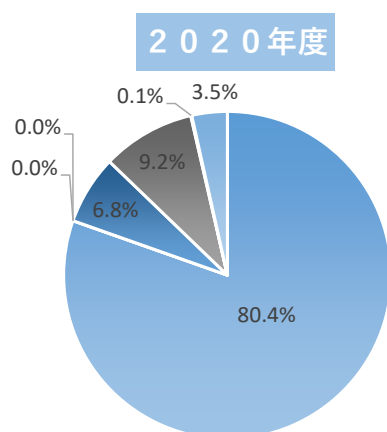
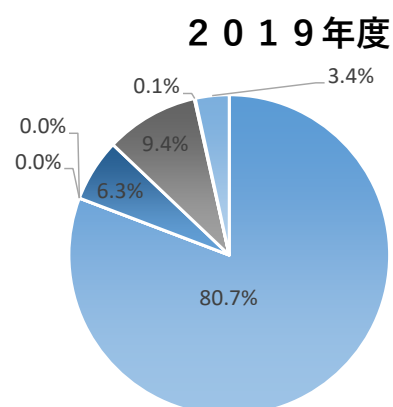
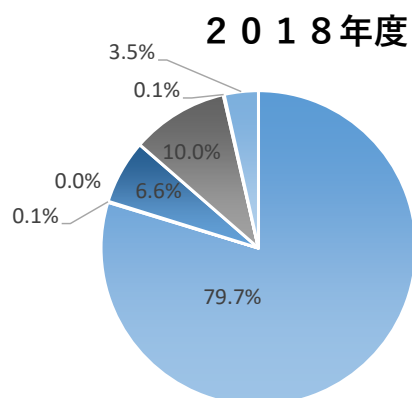
2. 2020年度 健康診断実施状況および統計

2. 1. 事業別割合

当センターの事業は大きく7つに分けられ、各事業の割合は下記のとおりである。

【事業種別と前年度割合比較】

事業種別（主な事業）		割合		
種別	主な事業	2018年度	2019年度	2020年度
(1) 健康診断事業	各種健康診断	79.7%	80.7%	80.4%
(2) 診療に関する事業	健診時および健診後に行う精密検査	0.1%	0.0%	0.0%
(3) 保健福祉に関する事業	地域住民を対象とした肝炎ウイルス検査 乳がん検診・高齢者インフルエンザ予防接種	0.0%	0.0%	0.0%
(4) 労働衛生管理コンサルティング事業	委嘱産業医業務 労働衛生教育	6.6%	6.3%	6.8%
(5) 作業環境測定	労働安全衛生法に定める作業環境測定	10.0%	9.4%	9.2%
(6) その他事業	君津製鉄所からの委託事業	0.1%	0.1%	0.1%
(7) 健康体力づくりに関する事業	各種保健指導、栄養・運動指導、健康相談等	3.5%	3.4%	3.5%



- 健康診断事業
- 診療に関する事業
- 保健福祉に関する事業
- 労働衛生管理コンサルティング事業
- 作業環境測定
- その他事業
- 健康体力づくりに関する事業

- 2020年度の事業種別に大きな変動はない。
- 前年度と比較しても横ばいであった。
- 経年でも特筆すべき大きな変化は見られていない。

2. 2. 健康診断会場別実施状況

当センターの健診会場として、センター施設内で行っている施設健診と、県内顧客事業所へ訪問して行う巡回健診がある。会場別実績件数は下記のとおりである。

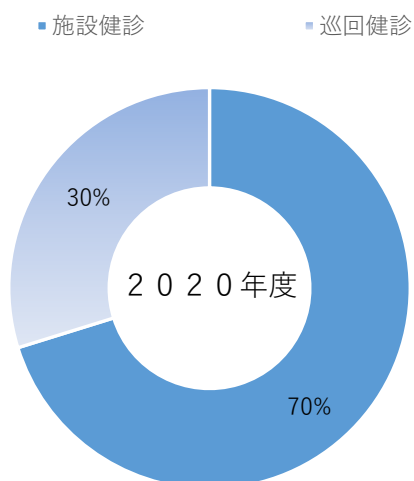
【健康診断会場別実施状況】

件数：延べ人数

会場種別	実績件数		
	2018年度	2019年度	2020年度
施設健診（君津健康センターの施設内で行っている健康診断）	49,037	48,871	47,242
巡回健診（顧客事業所へ訪問して行う健康診断）	22,109	20,701	20,047
合計	71,146	69,572	67,289

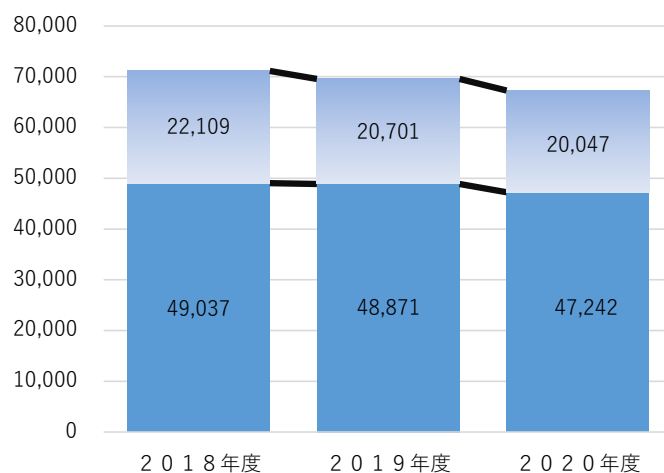
(人)

健康診断会場別の割合



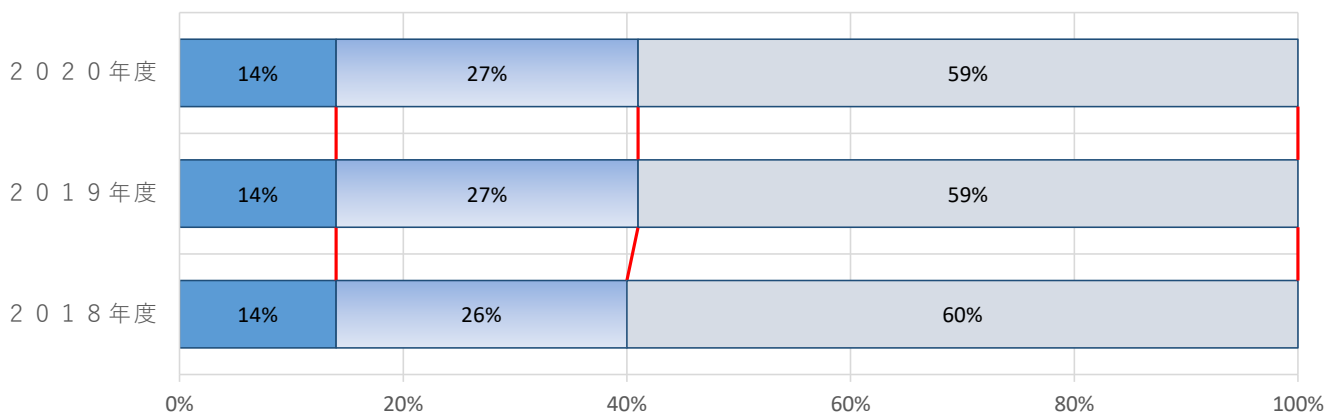
(人)

実績件数の経年比較



事業体別割合

■ 製鉄所関連 ■ 製鉄所協力会 ■ 一般近隣事業所



○2020年度の施設健診は、緊急事態宣言発出を受け、健診を閉めざるを得なかったが、215日稼働し受診実績47,242件であった。巡回健診（半日を1クルーとする）は、年間264クルー稼働し、受診実績20,047件であった。健康診断会場別の割合は特に大きな変化はない。

○前年度の会場別実績件数と比較して2020年度の施設・巡回健診ともに約3%減であった。

○経年変化として、巡回健診実施件数が少しずつ減少傾向にあり、「2019年秋の台風による巡回延期」、「2020年は新型コロナ感染拡大による日程の大幅調整」となった影響も少なくない。

2. 3. 年齢階層、性別受診状況

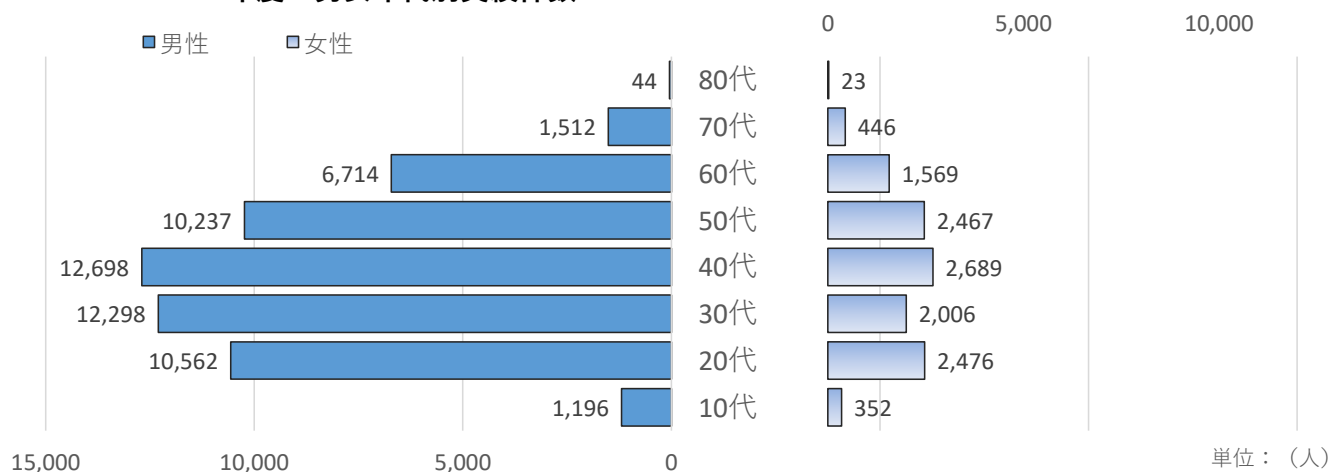
健康診断受診者の年齢階層、性別の受診状況は下記のとおりである。

【年齢階層・性別受診状況】

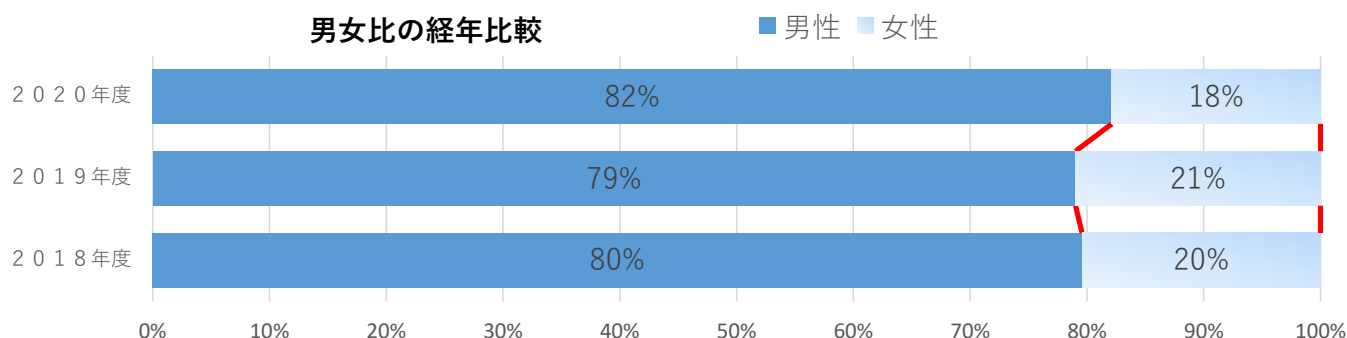
年齢階層	男	女	総計	割合
～19歳	1,196	352	1,548	2.3%
20～24歳	4,630	1,215	5,845	8.7%
25～29歳	5,932	1,261	7,193	10.7%
30～34歳	6,270	1,019	7,289	10.8%
35～39歳	6,028	987	7,015	10.4%
40～44歳	6,118	1,175	7,293	10.8%
45～49歳	6,580	1,514	8,094	12.0%
50～54歳	5,326	1,302	6,628	9.9%
55～59歳	4,911	1,165	6,076	9.0%
60～64歳	4,129	909	5,038	7.5%
65～69歳	2,585	660	3,245	4.8%
70～74歳	1,264	376	1,640	2.4%
75～79歳	248	70	318	0.5%
80～84歳	39	22	61	0.1%
85～89歳	5	1	6	0.0%
2020年度総計	55,261	12,028	67,289	
参考：2019年度総計	54,976	14,596	69,572	
参考：2018年度総計	56,618	14,528	71,146	

(人)

2020年度 男女年代別実績件数



男女比の経年比較



○2020年度の受診者年齢階層別では、男女とも40代（40～49歳）が最も多く、次いで男性は30代（30～39歳）・女性は20代（20～29歳）であった。

○前年度と比較し、男女比は8：2で男性受診者が多く、女性の割合が減少となった。

2. 4. 健診種類別実施状況

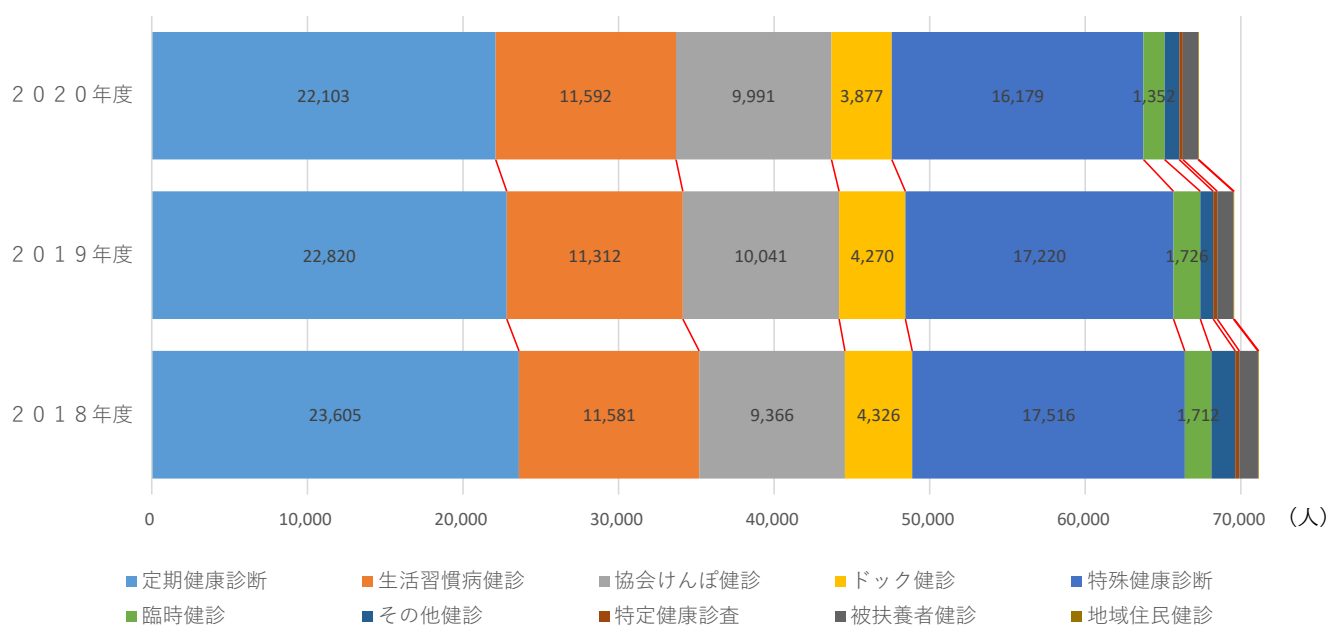
健康診断種類別実施状況は下記のとおりである。

【健診種類別実施状況】

健診種類		実施件数		
		2018年度	2019年度	2020年度
労働安全衛生法等関連法令に基づく健康診断				
	定期健康診断（法定健康診断、一部検査を省略した健診を含む）	23,605	22,820	22,103
	生活習慣病健診	11,581	11,312	11,592
	協会けんぽ健診（全国健康保険協会管掌生活習慣病予防健診）	9,366	10,041	9,991
	ドック健診（事業主ドック健診、総合健診、半日人間ドック等）	4,326	4,270	3,877
	特殊健康診断（各種法定、行政指導等）	17,516	17,220	16,179
	臨時健診（採用時、雇入れ、海外渡航健診等）	1,712	1,726	1,352
	その他健診（管理健診、短期入構者、精密検査等）	1,534	825	941
高齢者医療確保法に基づく健康診断				
	特定健康診査（集合契約、近隣4市国民健康保険）	262	274	240
	被扶養者健診（特定健診を兼ねる家族健診等）	1,193	1,026	973
	地域住民健診（若年者・後期高齢者健診等）	51	58	41
合計		71,146	69,572	67,289

（人）

健診種類別実施件数 比較



○ 2020年度の健康診断実施件数は、前年度より2,283件減の67,289件（対前年比4%減）であった。

○前年度比較では、ドック健診が約10%減となった。

2. 5. 特殊健康診断実施状況

特殊健康診断実施状況は下記のとおりである。

【特殊健康診断実施状況】

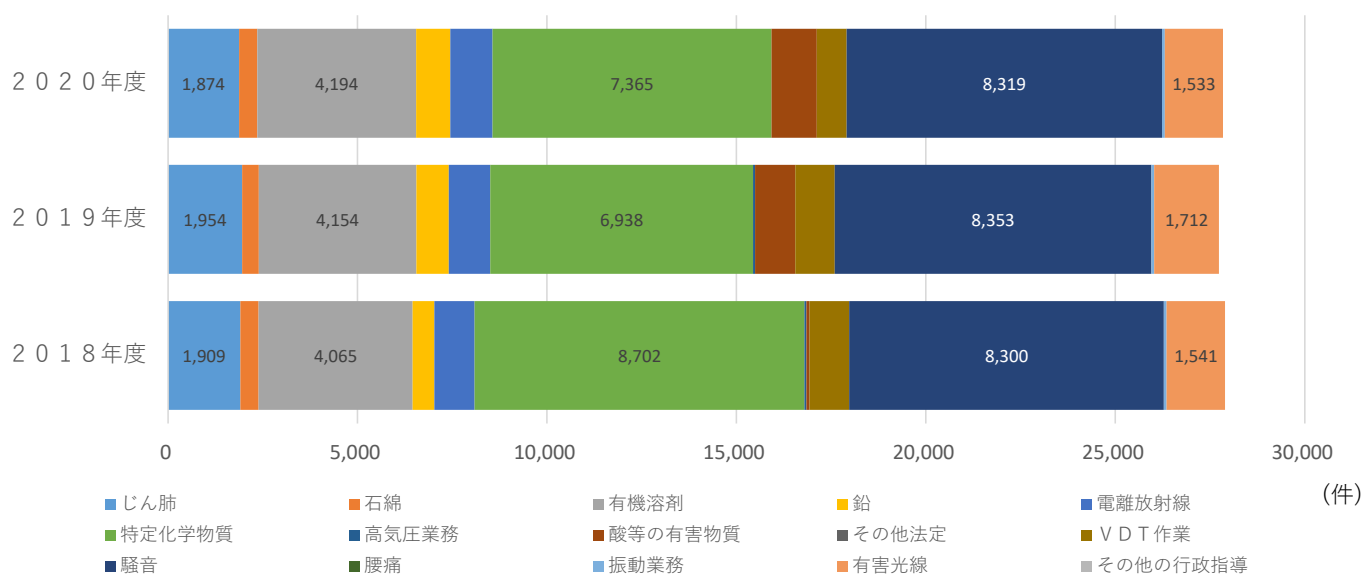
健診種類		実施件数			
		2018年度	2019年度	2020年度	
特殊健康診断				実施件数	有所見率
	じん肺健康診断（じん肺法3条、7条～9条の2）	1,909	1,954	1,874	0.2%
	石綿健康診断（石綿障害予防規則40条～43条）	482	444	479	0.4%
	有機溶剤健康診断（有機溶剤中毒予防規則29条）	4,065	4,154	4,194	0.3%
	鉛健康診断（鉛中毒予防規則53条）	569	855	898	2.4%
	電離放射線健康診断（電離放射線障害防止規則56条）	1,067	1,093	1,115	0.2%
	特定化学物質健康診断（特定化学物質等障害予防規則39条）	8,702	6,938	7,365	0.3%
	高気圧業務健康診断（高気圧作業安全衛生規則38条）	52	53	52	0.0%
	酸等の有害物質取扱従事者の歯科健康診断（安衛則48条）	84	1,062	1,194	0.0%
	その他法定の特殊健康診断（四アルキル鉛、除染作業）	0	0	0	0.0%
行政指導健康診断					
	V D T 作業健康診断	1,048	1,043	792	1.8%
	騒音作業健康診断	8,300	8,353	8,319	5.1%
	腰痛健康診断	0	0	0	0.0%
	振動業務健康診断（チェンソー・手持振動工具等）	77	76	78	0.0%
	有害光線健康診断（紫外線・赤外線・レーザー光線等）	1,541	1,712	1,533	0.0%
	その他の行政指導による健康診断	0	0	0	0.0%

* 一人で複数の特殊健診対象者はそれぞれの特殊健診にカウント

(件)

* 特定化学物質健診は、化学物質毎の合計を件数とする

特殊健診種類別実施件数 前年比較



○ 2020年度の特健康診断は、ほぼ例年並みの受診状況であった。

○ 前年度比較すると、「行政指導-VDT作業健康診断」が減少している。

○ 経年比較しても大きな変動はなく、今後の法令改正に伴い、特殊健康診断の実施者数増加が予想される。

2. 6. 定期健康診断受診結果と集計（項目別の有所見率）

定期健康診断の受診結果と集計（項目別の有所見率）は下記のとおりである。

尚、対象となる健康診断は定期健康診断のみとし、臨時健診・特定健診・被扶養者健診・特殊健診・深夜業健診等は対象に含まないものとする。

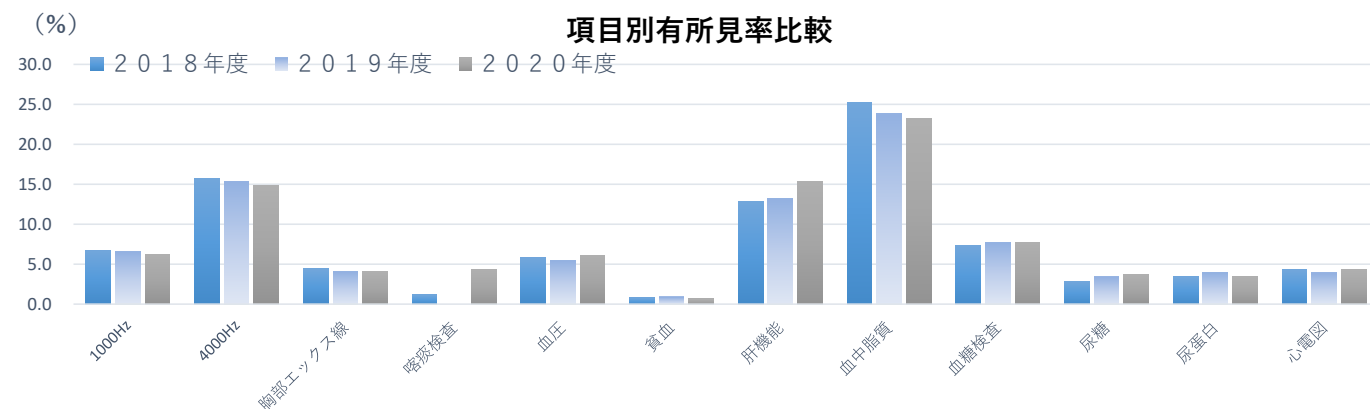
【定期健康診断の受診結果】

検査項目	実施件数	有所見数	有所見率	検査項目	実施件数	有所見数	有所見率
聴力1000Hz	42,638	2,663	6.2	肝機能検査	43,199	6,662	15.4
聴力4000Hz	42,638	6,321	14.8	血中脂質検査	43,150	10,008	23.2
聴力その他の方法	1,251	16	1.3	血糖検査	43,148	3,323	7.7
胸部エックス線	43,771	1,777	4.1	尿検査（糖）	43,956	1,612	3.7
喀痰検査	70	3	4.3	尿検査（蛋白）	43,956	1,483	3.4
血圧	43,973	2,701	6.1	心電図	40,637	1,745	4.3
貧血検査	43,183	307	0.7	所見のあった者の人数	43,973	22,327	50.8

(人) (人) (人) (人) (人) (人) (人) (人)

【定期健康診断有所見率の前年度比較】

検査項目	有所見率		
	2018年度	2019年度	2020年度
聴力1000Hz	6.7%	6.6%	6.2%
聴力4000Hz	15.7%	15.4%	14.8%
聴力その他の方法	0.5%	1.4%	1.3%
胸部エックス線	4.4%	4.1%	4.1%
喀痰検査	1.2%	0.0%	4.3%
血圧	5.8%	5.5%	6.1%
貧血検査	0.8%	0.9%	0.7%
肝機能検査	12.9%	13.2%	15.4%
血中脂質検査	25.3%	23.8%	23.2%
血糖検査	7.4%	7.7%	7.7%
尿検査（糖）	2.9%	3.4%	3.7%
尿検査（蛋白）	3.4%	4.0%	3.4%
心電図	4.3%	3.9%	4.3%
所見のあった者の人数	51.0%	50.7%	50.8%



○2020年度の健康診断有所見率（所見のあった者の人数）は、50.8%で、2人に1人は有所見者であることが伺える。

○項目別有所見者は、前年度と比較大きな変化は見られなかった。

○依然として聴力4000Hz、肝機能検査、血中脂質検査の有所見率が高い傾向にある。

当センターの有所見判断基準と全国および千葉県との比較は下記のとおりである。

尚、比較資料は『厚生労働省：定期健康診断実施結果』、『千葉労働局：千葉県の労働災害現状』より抜粋

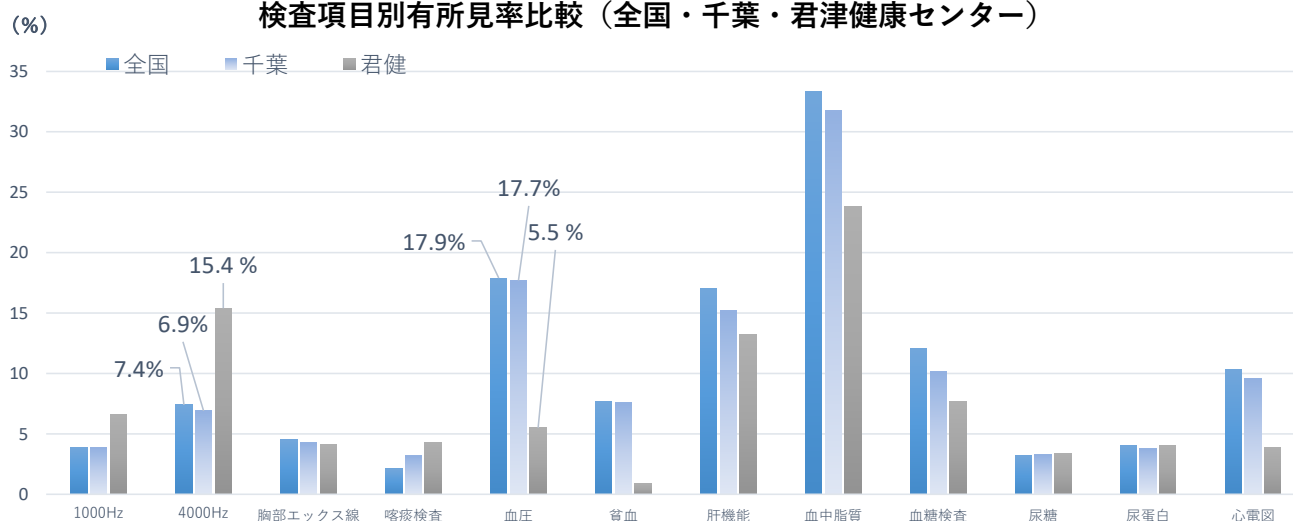
【君津健康センター有所見基準】

聴力1000Hz	左右いずれかが、30dB超の純音を聴取できない者または+の者	肝機能検査	GOT 50以上、GPT 50以上、 γ -GPT 100以上のいずれかに該当する者
聴力4000Hz	左右いずれかが、40dB超の純音を聴取できない者または+の者	血中脂質検査	TG（中性脂肪） 300以上 HDLコレステロール 39以下 または 100以上 LDLコレステロール 160以上のいずれかに該当する者
聴力その他の方法	判定区分が“正常”以外の者	血糖検査	随時血糖 60未満または126以上 ヘモグロビンA1c(NGSP値) 6.5以上のいずれかに該当する者
胸部エックス線	判定区分が“軽度所見”以上の者	尿検査（糖）	尿糖が + 以上の 人数
喀痰検査	結核菌検査“1+”以上の者	尿検査（蛋白）	尿蛋白が + 以上の 人数
血圧	収縮期：160以上または拡張期100以上の者	心電図	判定区分が“軽度所見”以上の者
貧血検査	血色素量が、男：11.0未満、女：10.0未満の者	所見のあった者の人数	聴力～心電図の有所見者に該当する者

【2020年全国および千葉県における項目別有所見率（％）】

検査項目	全国	千葉県	検査項目	全国	千葉県
聴力1000Hz	3.9%	3.9%	肝機能検査	17.0%	15.2%
聴力4000Hz	7.4%	6.9%	血中脂質検査	33.3%	31.8%
聴力その他の方法		0.8%	血糖検査	12.1%	10.2%
胸部エックス線	4.5%	4.3%	尿検査（糖）	3.2%	3.3%
喀痰検査	2.1%	3.2%	尿検査（蛋白）	4.0%	3.8%
血圧	17.9%	17.7%	心電図	10.3%	9.6%
貧血検査	7.7%	7.6%	所見のあった者の人数	58.5%	58.5%

検査項目別有所見率比較（全国・千葉・君津健康センター）



○2020年全国・千葉県における有所見率は、全国・千葉県共に58.5%であった。また当センターの有所見率は50.8%であった。

○全国・千葉県・君津健康センターで検査項目別有所見率を比較すると、昨年同様“聴力検査4000Hz”が約2倍以上と高い傾向が続き、“血圧測定”は約1/3と低い有所見率であった。

2. 7. がん検診受診結果

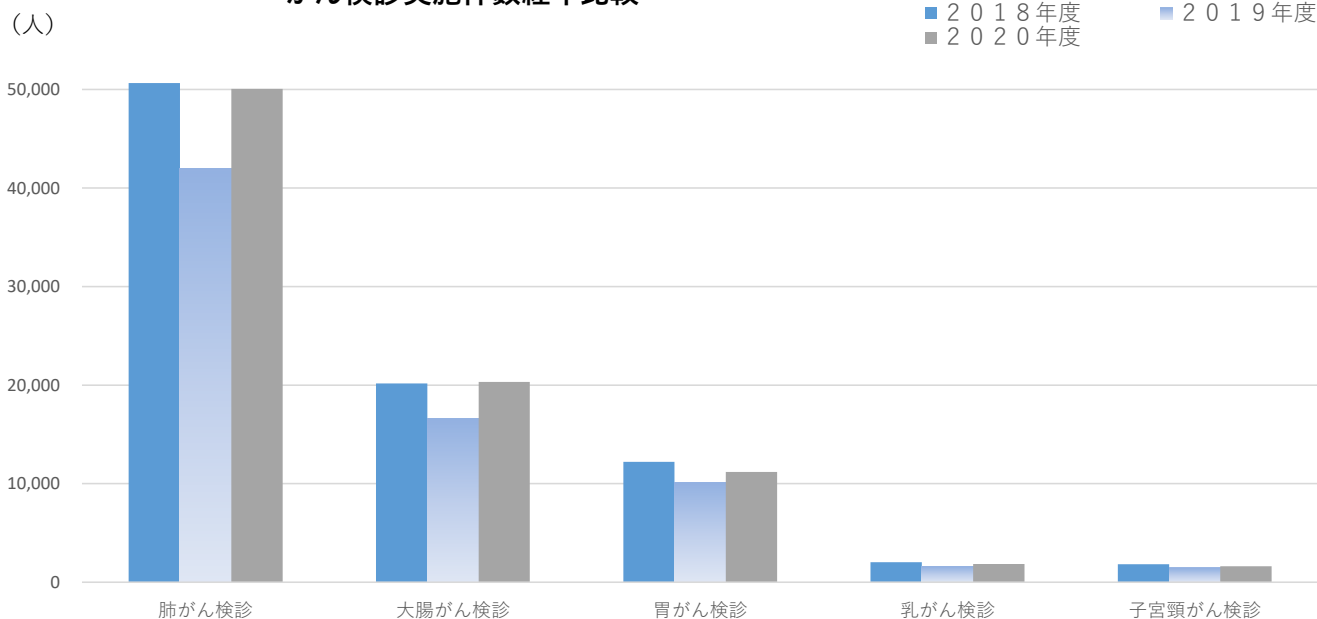
各種がん検診の実施件数および要精検率は下記のとおりである。

【各種がん検診実施件数、要精密検査件数、要精検率】

* 要精検率：実施件数のうち、要精密検査と判定された者の割合

検診種類	検査項目	性別／合計	2018年度			2019年度			2020年度		
			実施件数	要精密検査件数	要精検率	実施件数	要精密検査件数	要精検率	実施件数	要精密検査件数	要精検率
肺がん	胸部エックス線検査	男性	40,356	694	1.7%	33,301	533	1.6%	39,353	537	1.4%
		女性	10,211	154	1.5%	8,649	103	1.2%	10,624	120	1.1%
		合計	50,567	848	1.7%	41,950	636	1.5%	49,977	657	1.3%
	喀痰細胞診検査	男性	61	0	0.0%	27	0	0.0%	57	1	1.8%
		女性	15	0	0.0%	15	0	0.0%	15	0	0.0%
		合計	76	0	0.0%	42	0	0.0%	72	1	1.4%
大腸がん	便潜血検査	男性	15,961	940	5.9%	12,953	743	5.7%	16,064	1,005	6.3%
		女性	4,196	223	5.3%	3,621	221	6.1%	4,265	270	6.3%
		合計	20,157	1,163	5.8%	16,574	964	5.8%	20,329	1,275	6.3%
胃がん	胃部エックス線検査	男性	9,640	418	4.3%	7,928	319	4.0%	8,984	266	3.0%
		女性	2,239	70	3.1%	1,980	64	3.2%	2,200	50	2.3%
		合計	11,879	488	4.1%	9,908	383	3.9%	11,184	316	2.8%
	胃部内視鏡検査	男性	261	23	8.8%	178	17	9.6%	8	1	12.5%
		女性	69	4	5.8%	59	10	16.9%	2	0	0.0%
		合計	330	27	8.2%	237	27	11.4%	10	1	10.0%
乳がん	マンモグラフィ検査	男性									
		女性	1,133	108	9.5%	931	77	8.3%	982	79	8.0%
		合計	1,133	108	9.5%	931	77	8.3%	982	79	8.0%
	乳腺超音波検査	男性									
		女性	902	11	1.2%	688	9	1.3%	855	12	1.4%
		合計	902	11	1.2%	688	9	1.3%	855	12	1.4%
子宮がん	子宮頸がん検査	男性									
		女性	1,813	37	2.0%	1,444	67	4.6%	1,613	46	2.9%
		合計	1,813	37	2.0%	1,444	67	4.6%	1,613	46	2.9%
消化器がん	腹部超音波検査	男性	1,798	57	3.2%	1,636	60	3.7%	1,769	59	3.3%
		女性	787	27	3.4%	672	18	2.7%	783	21	2.7%
		合計	2,585	84	3.3%	2,308	78	3.4%	2,552	80	3.1%

がん検診実施件数経年比較



○2020年度がん検診は、緊急事態宣言発出を受け、以降の胃部内視鏡検査がすべて中止となった。

○各種がん検診は前年度に比べて、胃部内視鏡検査を除くすべてにおいて実施件数増加であった。

○経年比較しても大きな変動はなく、がん検診ニーズの高まりから、受入れ体制を強化し実施者数増加が課題である。

2. 8. がん検診追跡調査

2020年12月から「がん6分類」として受診者追跡調査を行い、2021年8月現在の結果は下記のとおりである。

【各種がん検診判定別件数、要精密検査件数、紹介状発行件数、精密検査受診数、がん発見数】

* 調査対象 2020年12月1日～2021年3月31日に君津健康センターで下記検査を受診した者

判定分類	がん検診分類	肺がん	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん	その他のがん
	対象の検査項目	胸部エックス線 喀痰細胞診	胃部エックス線 胃部内視鏡検査	便潜血検査	マンモグラフィ 乳腺超音波検査	子宮頸部細胞診	腹部超音波 P S A
N	正常、異常なし	11,859	1,817	4,471	451	483	992
A	僅かな異常	0	0	1	0	0	0
B	経過観察、軽度所見	1,488	411	0	90	1	422
C	再検査	0	0	0	0	0	0
D	要精密検査	244	66	330	37	22	107
E	要治療	0	0	0	0	0	0
受診合計(A)		13,591	2,294	4,802	578	506	1,521
要精検数(B) (判定D+E)		244	66	330	37	22	107
要精検率 (%) (B/A)		1.8%	2.9%	6.9%	6.4%	4.3%	7.0%
紹介状発行数(C)		46	2	15	10	15	11
紹介状発行率 (%) (C/B)		18.9%	3.0%	4.5%	27.0%	68.2%	10.3%
精検受診数(D)		33	1	9	8	7	8
精検受診率 (%) (D/C)		71.7%	50.0%	60.0%	80.0%	46.7%	72.7%
がん発見数(E)		4	0	0	0	0	1
がん発見率 (%) (E/A)		0.03%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.07%

要精検数：検査項目判定結果が「D:要精密検査、E：要治療」で判定された者の人数

要精検率：要精検と判定された者の人数÷受診合計

紹介状発行数：“要精査”と判定された者のうち、紹介状が発行された者の人数

紹介状発行率：紹介状が発行された者の人数÷要精査と判定者数

精検受診数：紹介状が発行された者のうち、病院からの返信書を受領した者の人数

精検受診率：返信書受領者数÷紹介状発行数

がん発見数：返信書を受領した者のうち、「がんまたはがん疑い」と診断された者の人数

がん発見率：がん（疑い）と診断された者の人数÷受診合計

○2018年3月に厚生労働省より発行された「職域がん検診マニュアル」の5種がん分類を基礎とし“その他のがん（腹部超音波・PSA）”を追加して上記6分類として2020年12月より調査を開始した。

○調査の目的として「誰（どの受診者）が？」、「何がんだったのか？」をシンプルに調査することとした。

2. 9. 各種精度管理事業

2020年度の外部機関が実施する精度管理調査の参加状況と結果は下記のとおりである。

【検体検査領域】 血液検査、生物学的モニタリングの検査に係る外部精度管理

実施月	主催	項目	評価（結果）		
			2018年度	2019年度	2020年度
2020年7月	一般社団法人 日本臨床検査技師会	臨床化学（18項目）、血液検査（8項目）、 一般（尿定性3項目、便潜血1項目）	良好	良好	良好
2020年9月	一般社団法人 日本総合健診医学会	臨床化学（18項目）、血液検査（8項目）、 一般（尿定性3項目）	良好	良好	良好
2020年10月	公益財団法人 全国労働衛生団体連合会	鉛中毒予防規則（血中鉛、尿中δ-アミノレブリン酸）、 有機溶剤予防規則（尿中代謝物 6項目）	A	A	A
2021年2月	公益財団法人 全国労働衛生団体連合会	臨床化学（17項目）、血液（8項目）、 一般（尿定性3項目）	A	A	A

* 臨床化学（18項目）：AST（GOT）、ALT（GPT）、γ-GTP、総コレステロール、HDL-C、LDL-C、中性脂肪、尿酸、BUN、Cre、TP、ALB、A/G、LDH、ALP、Glu、HbA1c、CRP

* 血液検査（8項目）：白血球数、赤血球数、血色素量、ヘマトクリット、血小板数、MCV、MCH、MCHC

* 一般（尿定性3項目）：尿糖、尿蛋白、尿潜血、一般（便潜血1項目）：便潜血検査

*（尿中代謝物 6項目）：尿中馬尿酸量、尿中メチル馬尿酸量、尿中マンデル酸量、総三塩化物量、2,5-ヘキササジオン量、N-メチルホルムアミド量

【生理機能検査領域】 心電図読影、腹部超音波検査の画像評価に係る外部精度管理

実施月	主催	項目	評価（結果）		
			2018年度	2019年度	2020年度
2020年11月	公益財団法人全国労働衛生団体連合会 公益財団法人日本人間ドック学会	腹部超音波検査	A	B	B
2021年2月	一般社団法人 日本総合健診医学会	心電図読影（医師による）	良好	良好	良好

【画像診断領域】 胸部エックス線単純撮影の技術及び画像評価に係る外部精度管理

実施月	主催	項目	評価（結果）		
			2018年度	2019年度	2020年度
2020年10月	公益財団法人 全国労働衛生団体連合会	胸部エックス線単純撮影	良好	良好	良好
2021年2月	一般社団法人 日本総合健診医学会	胸部エックス線写真読影（医師による）	良好	良好	良好

○2020年度に参加した精度管理は概ね良好な結果であったが、腹部超音波検査の画像評価でB評価であった。

○前年度比較しても、大きな変動は見られなかった。

○経年比較しても概ね良好な結果で推移している。今後は事業基盤安定化に向け、超音波や胸部エックス線など画像診断機器の設備更新計画を進めていく。

3. 健康体力づくりに関する事業実績

3. 健康体力づくりに関する事業実績

3. 1. 健康体力づくり事業実績

健康体力づくり事業は保健師・管理栄養士・健康運動指導士で組織されており、実績件数は下記のとおりである。

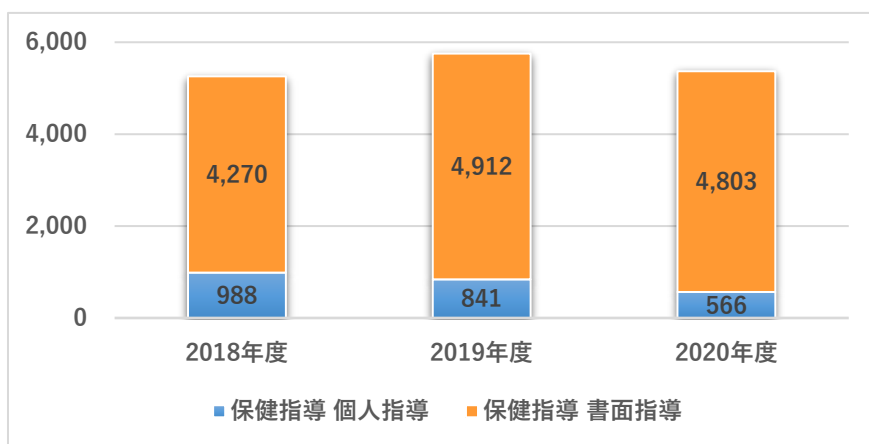
(件)

項 目	内 容	2018年度	2019年度	2020年度
保健指導	個人指導	988	841	566
	書面指導	4,270	4,912	4,803
栄養指導	個人指導	151	152	128
	書面指導	72	59	96
運動指導	書面指導	218	211	224

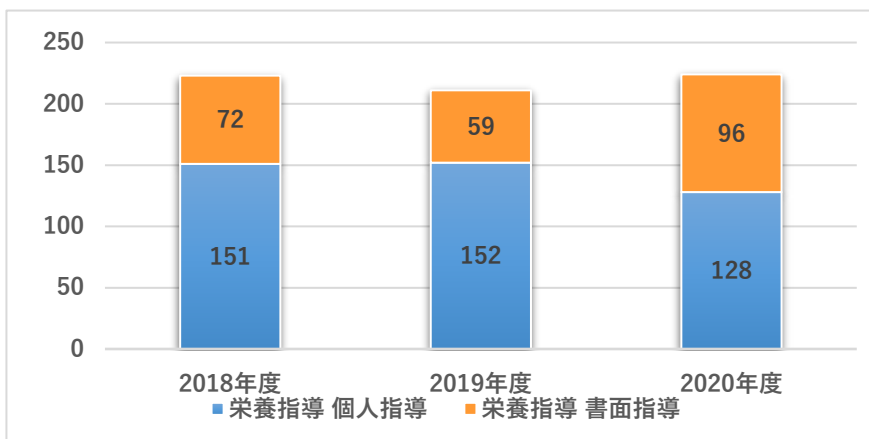
・個人指導とは
対面形式によるもの

・書面指導とは
健診結果などの書面に
コメント記載するもの

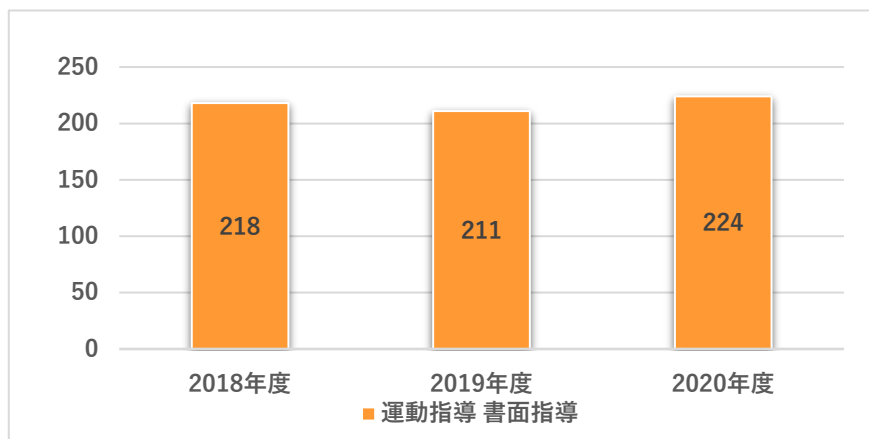
保 健 指 導



栄 養 指 導



運 動 指 導



○2020年度は新型コロナウイルス感染対策のため対面形式の個人指導は減少した。
とくに保健指導では前年比275件減少と目立っている。

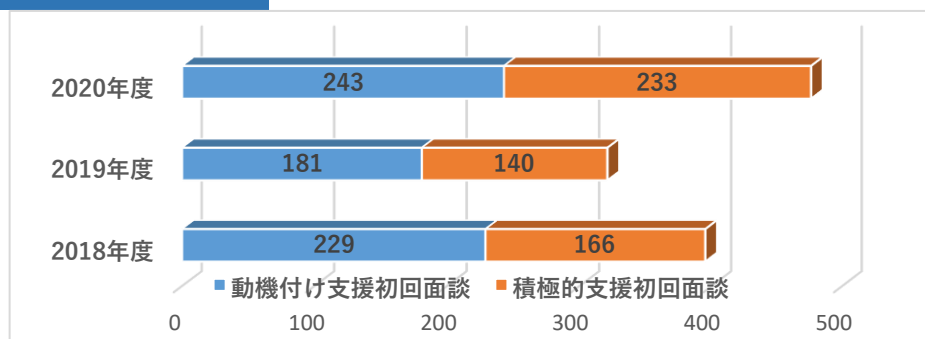
3. 2. 高齢者医療確保法に基づく特定保健指導実績

特定保健指導の実績件数は下記のとおりである。(件)

支援レベル	2018年度	2019年度	2020年度
動機付け支援初回面談	229	181	243
積極的支援初回面談	166	140	233

- ・動機付け支援（動機付け支援相当含む）：初回面談後、4か月以降に評価を実施。
- ・積極的支援：初回面談後、3か月以上継続支援を実施したのち4か月以降に評価を実施。

特定保健指導



○2020年度は特定保健指導実施件数は476件だった。6月より感染対策（入館管理の徹底、面談室の整備等）を行い対面面談を再開できたことが実績に反映された。

件数増加は2019年度予定者のずれ込み、健康保険組合協議により支援コースの見直し（期間、継続支援方法）が行われたことも一因として考えられる。

○2019年度の件数落ち込みは新型コロナウイルス感染拡大防止対策として行政通達（2020年3月）により対面面談一時中止の措置によるものである。

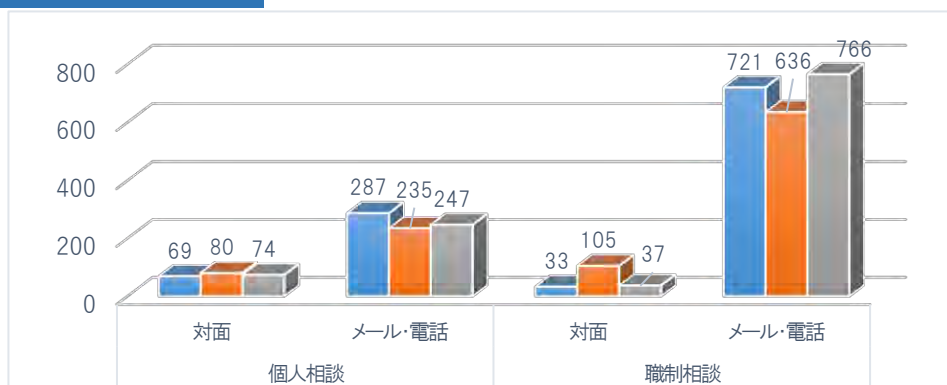
3. 3. 健康相談実績

保健指導契約事業所からの健康相談実績件数は下記のとおりである。(件)

区分	方法	2018年度	2019年度	2020年度
個人相談	対面	69	80	74
	メール・電話	287	235	247
職制相談	対面	33	105	37
	メール・電話	721	636	766

- ・職制相談の職制には、安全衛生担当者、職場の上司、管理職が含まれている。
- ・相談内容は健康診断結果以外の内容も含まれており、職場の人間関係に関することやメンタルヘルス関連、就業規制に関する事など労働衛生も含めた健康管理全般的な相談を受けている。

健康相談



○2020年度は感染症対策として職制からの相談は対面は減少し、メール・電話が増加した。

3. 4. 集合教育実績

健康体力づくり事業の1つである集合教育の実績件数は下記のとおりである。

(件)

教 育	2018年度	2019年度	2020年度
集合教育	107	120	21

2020年度実施詳細

(件)

担 当 者	集合教育テーマ	対面	資料提供
保健師	感染症対策とスマホ障害 *1	1	1
	冬の感染症予防	2	2
	目ゴミ		1
	熱中症予防・食中毒予防 *2 *3	2	
	熱中症予防 & 新しい生活様式	1	1
	熱中症予防	6	1
	感染症対策	2	
健康運動指導士	心とからだを元気にする「筋活」のすすめ *4	1	

○2020年度は感染症対策として3密（密閉、密集、密接）回避のため、集合教育の依頼件数は激減した。実施した中では資料提供のみや職場要請に応じてWEB形式を試行的に行ったケースもある。

○保健指導契約のない事業所からの依頼は1件のみであった。今後の課題として、WEB形式を円滑に実施できる通信環境の整備や講師スタッフの技術習得向上などがあげられる。

以下は教育で使用したスライドの一例である。

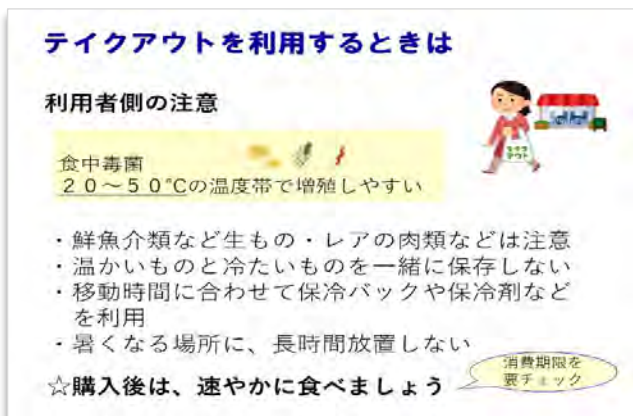
【感染症対策とスマホ障害】*1



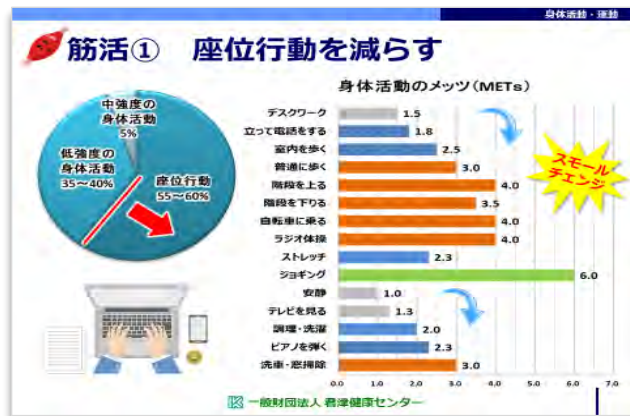
【熱中症予防】*2



【食中毒予防】*3



【心とからだを元気にする「筋活」のすすめ】*4



3. 5. 調査研究および教育活動実績

当該内容としては、主に下記のとおりである。

- (1) 産業保健に携わる関係者、事業所健康体力づくり支援等各種講習会における講師対応
 - ・ 健診機関職員や産業保健に携わる医師・保健師・衛生管理者、看護系学生などへの教育、人材育成研修における安全衛生教育の一環として新入社員への導入教育等を担当。
 - (2) 産業保健・健康管理に関する学会発表など
 - ・ 学会での発表・報告を毎年行うなど、予防医学の考え方に沿った取り組みを遂行している。
- 2020年度は感染症対策としてインターネット利用や動画使用の方法を新たに取り入れた。
(対面：現場で対面 WEB：インターネット利用 動画：独自に撮影したVTRを使用)
 実績内容を以下に記す。

【産業医を対象にした研修会への講師派遣】

依頼元・主催団体	内容	実施者	方法
産業医科大学	産業医大プレミアムセミナー 2回実施 (はじめての嘱託産業医)	山瀧	対面 WEB
横浜市医師会	産業医研修会(有害業務)	山瀧	対面
広島県医師会	産業医研修会(産業医活動の基本)	山瀧	対面
産業医アドバンスド 研修会	保護具についてe-learning教材提供	山瀧	動画
千葉県医師会	COVID-19と職場での対策	山瀧	対面
茨城県医師会	過重労働対策セミナー 最近の過重労働関係法令	山瀧	対面
館山医師会	医療機関・介護施設の産業保健活動	山瀧	対面

【医学部・看護学部実習の受け入れ、講義実施】

依頼元・主催団体	内容	実施者	方法
産業医科大学	産業保健実習	産業 保健部	WEB
淑徳大学看護栄養学部 看護学科	鉄鋼業関連の職場の健康管理、安全衛生、 メンタル不調対応の実際	長尾	WEB
千葉科学大学保健師 履修生	公衆衛生看護学実習Ⅱ 産業保健	吉住	WEB
千葉医療福祉専門学校	公衆衛生学	山瀧・ 小倉(康)	対面

【医療関係者、職場管理者、健診機関職員を対象にした研修会への講師派遣】

依頼元・主催団体	内容	実施者	方法
千葉県産業保健看護研究会	職場における新型コロナウイルス感染症対策	山瀧	WEB
両立支援セミナー	治療と仕事の両立支援のためのグループ討論	山瀧	WEB
千葉産業保健総合支援センター	産業医・衛生管理者の職場巡視について	山瀧	対面
千葉産業保健総合支援センター	感染症に負けない職場づくり	山瀧	対面
千葉産業保健総合支援センター	コロナウイルス感染症の基礎知識	山瀧	対面
千葉産業保健総合支援センター	COVID-19 職域における感染予防対策	山瀧	対面
千葉産業保健総合支援センター	治療も仕事もあきらめない ～明日からできる治療と仕事の両立支援～	山瀧	対面
千葉産業保健総合支援センター	あなたを守る最後の城壁 ～労働衛生保護具について～	山瀧	WEB
君津製鉄所協力会	放射線取扱講習講師養成講習会	小倉(康)	動画
サンキュウビジネスサービス(株)	新型コロナワクチンの現状と課題	小倉(康)	WEB
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	職場のメンタルヘルス(一般向け/管理者向け)	山瀧	対面
駒井ハルテック(株)	メンタルヘルス教育 ストレスと戦うあなたへ ～セルフケアと仲間を護る～	小倉(康)	WEB
安全衛生コンサルタント	特殊健康診断の改正	山瀧	雑誌記事

【人材育成に関する講師派遣】

依頼元・主催団体	内容	実施者	方法
濱田重工(株)君津支店	新入社員の健康教育	高品	対面

【委員会活動】

依頼元・主催団体	内容	実施者	方法
全国労働衛生団体連合会	労働衛生検査専門委員会	山瀧	WEB
日本産業衛生学会	関東地方会運営、地方会ニュース編集	山瀧・ 小倉(康)	WEB
地域職域連携協議会	地域・職域の健康課題について討議、 特に喫煙対策	山瀧・ 吉住	書面
テクノヒル (厚労省委託事業)	化学物質の健康診断に関する専門委員会	山瀧	対面 WEB

【調査・研究協力活動】

依頼元・主催団体	内容	実施者	方法
労働安全衛生総合 研究事業	労働災害防止を目的とした高年齢労働者の身体機能を 簡易に測定するためのプログラム開発と実装検証	山瀧・ 小倉(康)	WEB
独立行政法人 労働者健康 安全機構 労働安全衛生総 合研究所	放射線業務従事者の健康影響に疫学研究	センター全体	対面
産業医科大学	過重労働対策特命講師(受託のため講習受講)	山瀧	WEB
産業医科大学 (厚生労働科学研究)	医療機関における治療と仕事の 両立支援の推進に資する研究	小倉(康)	WEB
日本産業衛生学会	関東地方会運営、地方会ニュース編集	山瀧・ 小倉(康)	WEB

【学会発表】

依頼元・主催団体	内容	実施者	方法
第93回日本産業衛生学会	某労働衛生機関における鉛健診についての検討	山瀧	WEB
第30回日本産業衛生学会 全国協議会	新型コロナウイルス国内感染期における産業保健活動 第3報：感染拡大期における健診の実施状況について	山瀧	WEB
第30回日本産業衛生学会 全国協議会	職域健康診断における感染症対策と課題 ～当センターのCOVID-19対策をふまえて～	小倉(康)	WEB

3. 6. 広報啓発活動実績

広報啓発活動の一環として、季刊誌「健康さんぽ」を年4回発行している。紙面の構成は健康管理、労働衛生、職員紹介、新規導入機器に関してなどである。

○おもな掲載記事（2018～2020年度）

発 行		2018年度 (第78～81号)	2019年度 (第82～85号)	2020年度 (第86～89号)
4月	特集	May blue 五月病	気をつけていますか？ 舌のこと	いつかはあなたもオリンピック!?今日からできる体力づくり
	Topics	改正育児・介護休業法のポイント	安全帯に関する法改正	作業環境測定に関する法改正（個人サンプリング法）
7月	特集	今日から始める熱中症予防	風疹と麻疹の感染拡大が止まらない件について	STAY HOMEでできる熱中症対策
	Topics	第13次労働災害防止計画 全国安全週間	全国安全週間	作業環境測定に関する法改正（塩基性酸化マンガン、溶接ヒューム） 新型コロナウイルス感染拡大防止対策への取り組み
10月	特集	子宮頸がんについて	食後高血糖に気をつけろ！	新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備えて
	Topics	全国労働衛生週間	全国労働衛生週間	電離放射線障害予防規則改正 全国労働衛生週間
1月	特集	メタボリックシンドロームを防ごう！	もしもの時にあなたができること～救急蘇生法～	新型コロナウイルス感染症による肌トラブル、ドライアイなどとその対処
	Topics	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン（MOCA）	受動喫煙防止対策	ホームページリニューアルのお知らせ

○認知度向上への取り組み

2020年11月にホームページを一新、当センターの活動をわかりやすく紹介している。センター医師・スタッフによるコラム、健康さんぽ最新号やバックナンバーなど健康づくりに役立つ情報発信も行っている。

2020年度は、時節、新型コロナウイルス感染症に関する情報提供を増やした。センターホームページにおけるページ別訪問数では上位ページとなり、引き続き顧客皆様のニーズに合った情報発信をすすめていく。

ホームページは
こちらから！



○第86号2020年4月発行

健康さんぽ



（表紙）

Contents

- ・ 事務局長 新年度の挨拶
- ・ いつかはあなたもオリンピック!? 今日からできる体力づくり
- ・ 作業環境測定に関する法改正
（個人サンプリング法）
- ・ 新入職員の紹介
- ・ コラム「春」
- ・ 編集後記

86号はこちら



○第87号2020年7月発行

健康さんぽ



（表紙）

Contents

- ・ 巻頭言「にんじんの花、大根の花」
- ・ 「STAY HOME」でできる熱中症対策
- ・ 塩基性酸化マンガン、溶接ヒュームについて
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について
- ・ 新入職員の紹介
- ・ コラム「憧れのステンドグラス」
- ・ 編集後記

87号はこちら



○第88号2020年10月発行

健康さんぽ



（表紙）

Contents

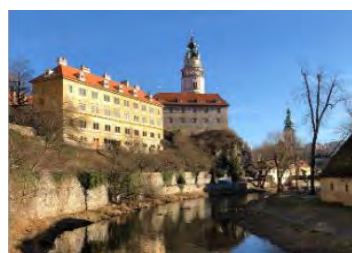
- ・ 巻頭言「ヨーロッパの美術館を巡る旅」
- ・ 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備えて
- ・ 電離放射線障害予防規則改正について
- ・ 空調機38台刷新、優良運転者表彰
- ・ ホームページリニューアル
- ・ コラム「スマホ無料漫画」
- ・ 編集後記

88号はこちら



○第89号2021年1月発行

健康さんぽ



（表紙）

Contents

- ・ 巻頭言「企画展 千葉県と疫病 - 繰り返す脅威 - の紹介」
- ・ 新型コロナウイルス感染症による肌トラブル、ドライアイなどと
その対処
- ・ 交通安全推進活動、ホームページの紹介
- ・ 干支のはなし「丑」
- ・ コラム「芝生体験ツアー」
- ・ 編集後記

89号はこちら



4. 作業環境測定事業

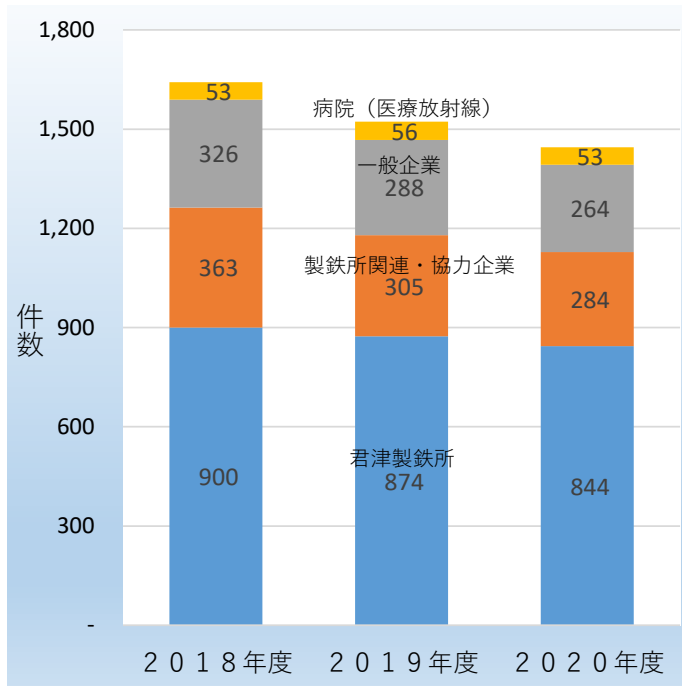
4. 作業環境測定事業

4. 1. 作業環境測定の実施状況

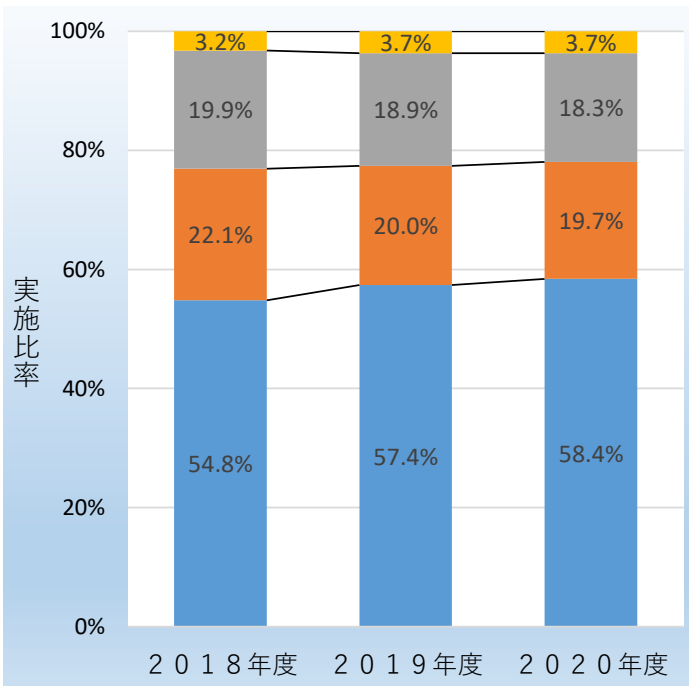
【作業環境測定実施事業所】

対象事業者の種類	測定実施件数			測定実施比率		
	2018年度	2019年度	2020年度	2018年度	2019年度	2020年度
君津製鉄所	900	874	844	54.8%	57.4%	58.4%
製鉄所関連・協力企業	363	305	284	22.1%	20.0%	19.7%
一般企業	326	288	264	19.9%	18.9%	18.3%
病院（医療放射線）	53	56	53	3.2%	3.7%	3.7%
合計	1,642	1,523	1,445			

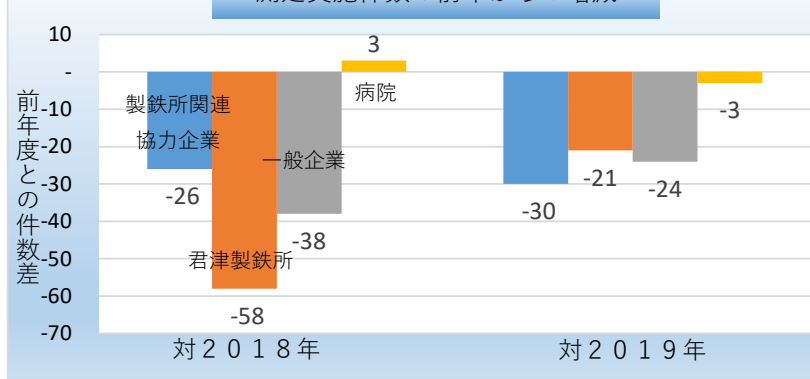
測定実施件数の推移



測定実施比率の推移



測定実施件数の前年からの増減



○測定実施件数の推移

- ① 2020年度の測定実施件数は合計で1,445件であった。また実施比率は君津製鉄所の測定依頼が約60%を占め、次に製鉄所関連・協力企業が約20%を占める結果となった。
- ② 前年度と比較して、今年度は実施件数のすべての項目においてやや減少しているが、実施比率に大きな変動はなかった。
- ③ 君津製鉄所と製鉄所関連・協力企業の合計件数は、2018年度で1,263件、2019年度で1,179件、2020年度で1,128件とやや減少している傾向にあった。

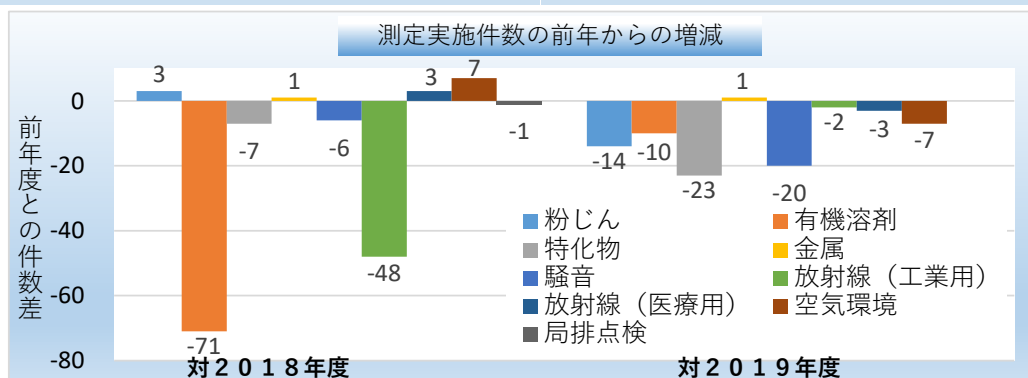
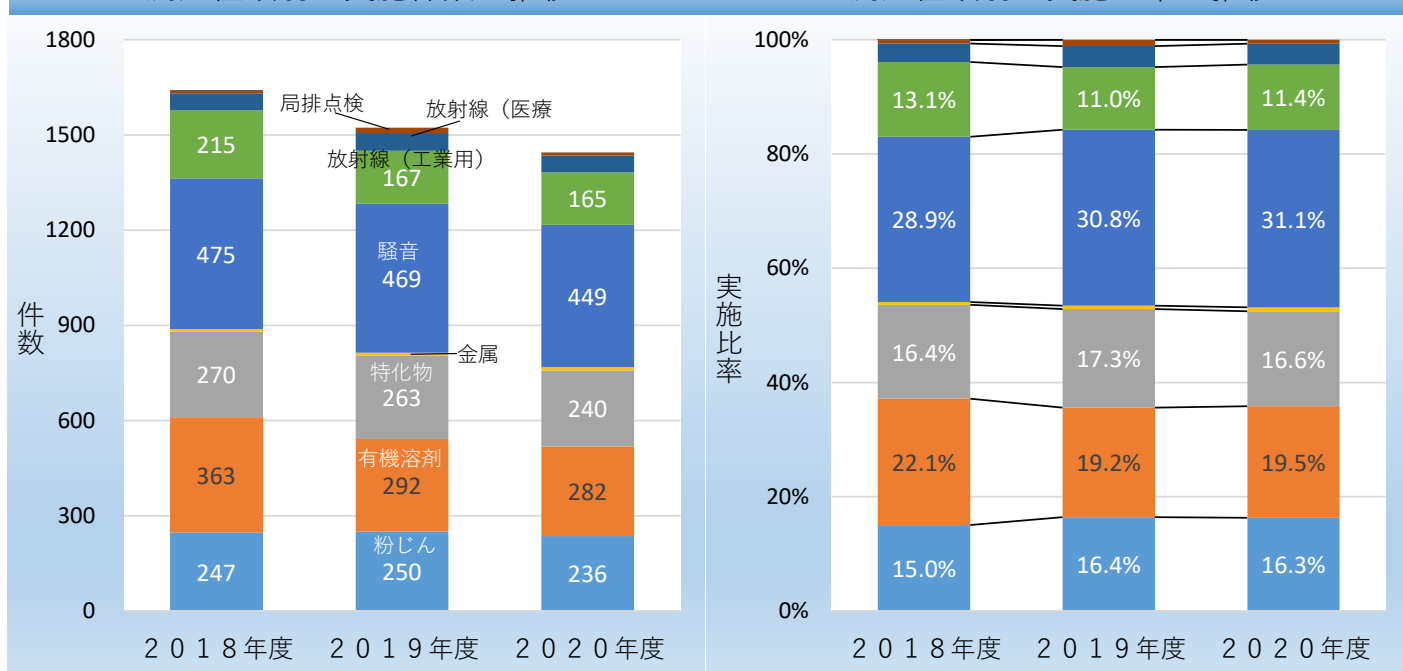
4. 2. 作業環境測定種類別の実施状況

【作業環境測定種類別実績件数】

測定種類		測定実施件数			測定実施比率		
		2018年度	2019年度	2020年度	2018年度	2019年度	2020年度
粉じん		247	250	236	15.0%	16.4%	16.3%
有機溶剤		363	292	282	22.1%	19.2%	19.5%
特化物		270	263	240	16.4%	17.3%	16.6%
金属		8	9	10	0.5%	0.6%	0.7%
騒音		475	469	449	28.9%	30.8%	31.1%
放射線	工業用	215	167	165	13.1%	11.0%	11.4%
	医療用	53	56	53	3.2%	3.7%	3.7%
空気環境		10	17	10	0.6%	1.1%	0.7%
局排点検		1	0	0	0.1%	0%	0%
合計		1,642	1,523	1,445			

測定種類別の実施件数の推移

測定種類別の実施比率の推移



○測定実施件数の推移

- ① 2020年度の測定実施件数および実施比率の高い順から、騒音が449件で31.1%、有機溶剤が282件で19.5%、特化物が240件で16.6%となった。
- ② 前年度と比較して、今年度は金属以外のすべての項目において減少しているが、実施比率に大きな変動はなかった。
- ③ 測定種類の比率については、3年間通じてほぼ変わらない傾向となった。

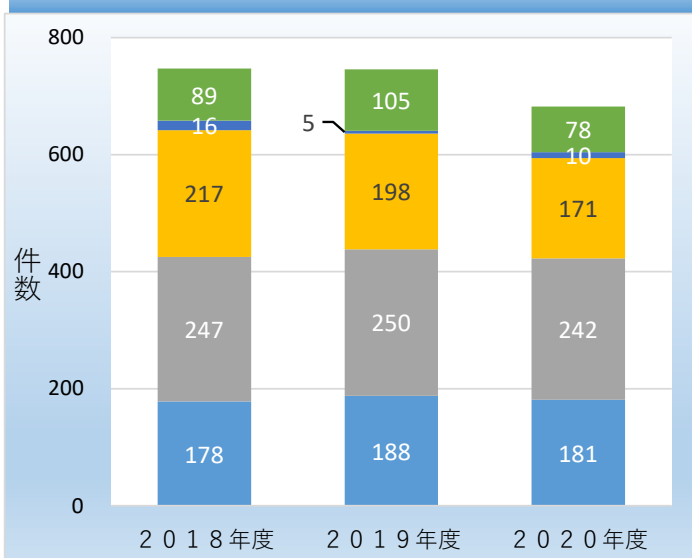
4. 3. 作業環境測定種類別管理区分の状況

【作業環境測定種類別管理区分件数】

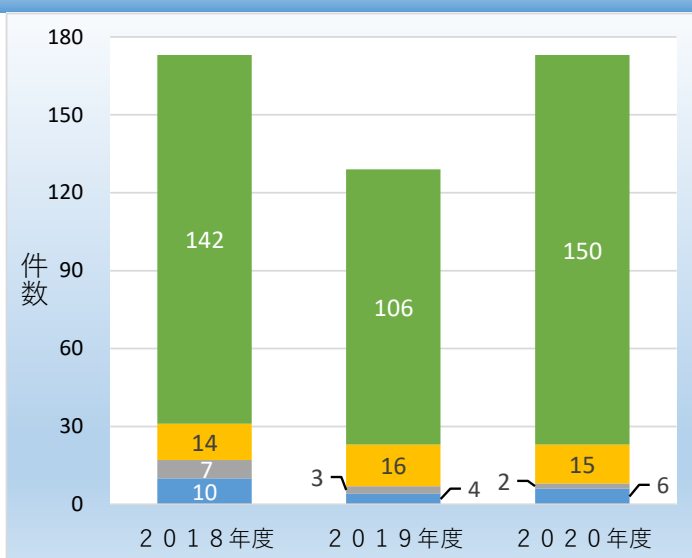
環境測定種類	第1管理区分			第2管理区分			第3管理区分		
	2018年度	2019年度	2020年度	2018年度	2019年度	2020年度	2018年度	2019年度	2020年度
粉じん	178	188	181	10	4	6	1	8	5
石綿	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有機溶剤	247	250	242	7	3	2	5	2	1
特化物	217	198	171	14	16	15	30	30	54
金属	16	5	10	0	0	0	1	0	0
騒音	89	105	78	142	106	150	241	258	221
合計	747	746	682	173	129	173	278	298	281

・管理区分3については、保護具活用や局所排気装置の設置など、測定事後支援措置を行なっている。

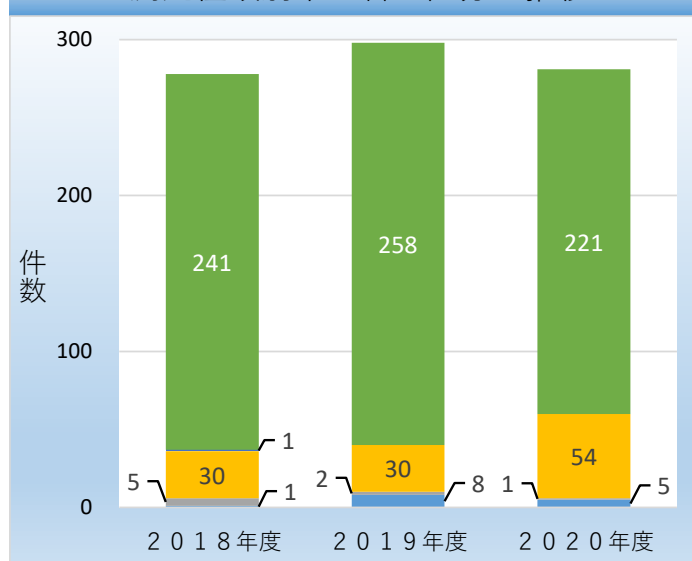
測定種類別の第1管理区分の推移



測定種類別の第2管理区分の推移



測定種類別第3管理区分の推移



- 騒音
- 金属
- 特化物
- 有機溶剤
- 粉じん

○測定種類別管理区分の推移

- ① 2020年度の管理区分別件数は第1管理区分が682件、第2管理区分が172件、第3管理区分が281件となった。
- ② 前年度と比較して、今年度は粉じん、有機溶剤、騒音の件数が増加し、特化物、金属の件数が減少した。
- ③ 管理区分別の件数については、3年間を通じて大きな変動はなかった。

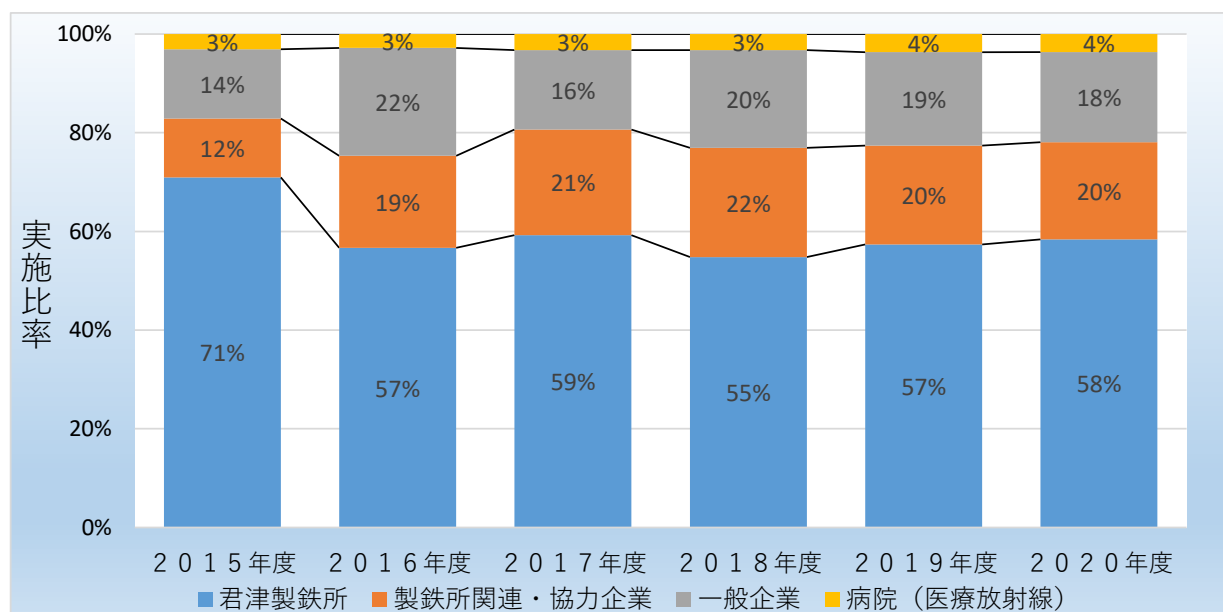
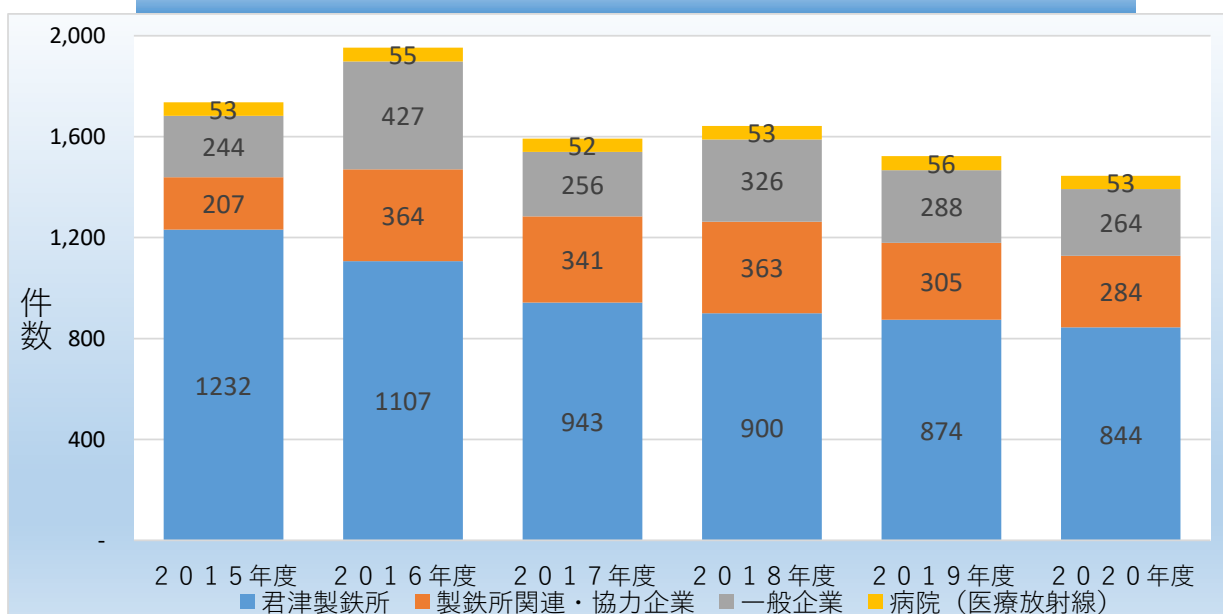
4. 4. 付録資料

【作業環境測定実施事業所】

対象事業者の種類	測定実施件数					
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
君津製鉄所	1,232	1,107	943	900	874	844
製鉄所関連・協力企業	207	364	341	363	305	284
一般企業	244	427	256	326	288	264
病院（医療放射線）	53	55	52	53	56	53
合計	1,736	1,953	1,592	1,642	1,523	1,445

対象事業者の種類	測定実施比率					
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
君津製鉄所	71.0%	56.7%	59.2%	54.8%	57.4%	58.4%
製鉄所関連・協力企業	11.9%	18.6%	21.4%	22.1%	20.0%	19.7%
一般企業	14.1%	21.9%	16.1%	19.9%	18.9%	18.3%
病院（医療放射線）	3.1%	2.8%	3.3%	3.2%	3.7%	3.7%

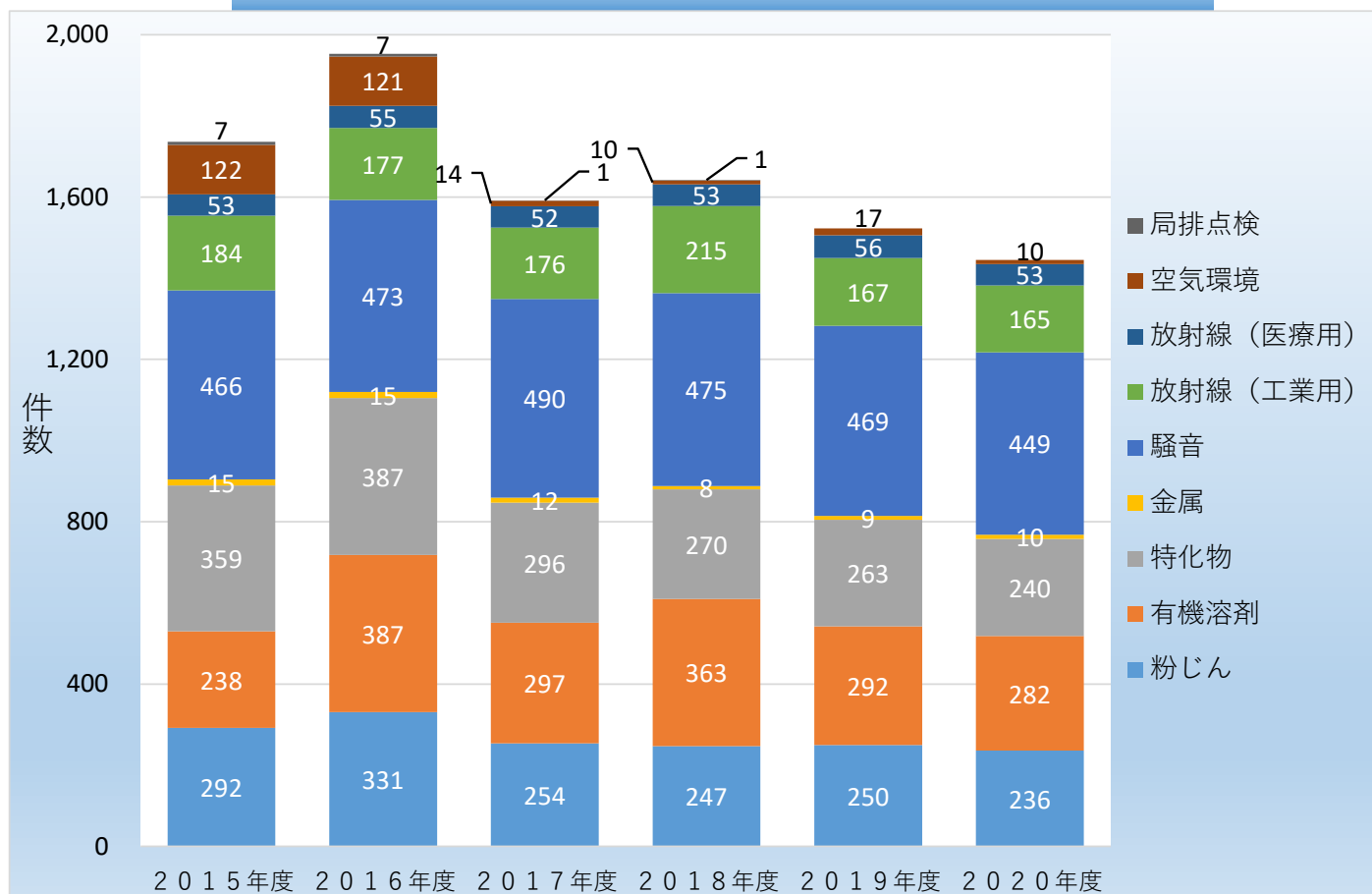
2015年度～2020年度の測定実施件数および比率の推移



【作業環境測定種類別実績件数】

測定種類		測定実施件数					
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
粉じん		292	331	254	247	250	236
有機溶剤		238	387	297	363	292	282
特化物		359	387	296	270	263	240
金属		15	15	12	8	9	10
騒音		466	473	490	475	469	449
放射線	工業用	184	177	176	215	167	165
	医療用	53	55	52	53	56	53
空気環境		122	121	14	10	17	10
局排点検		7	7	1	1	0	0
合計		1,736	1,953	1,592	1,642	1,523	1,445

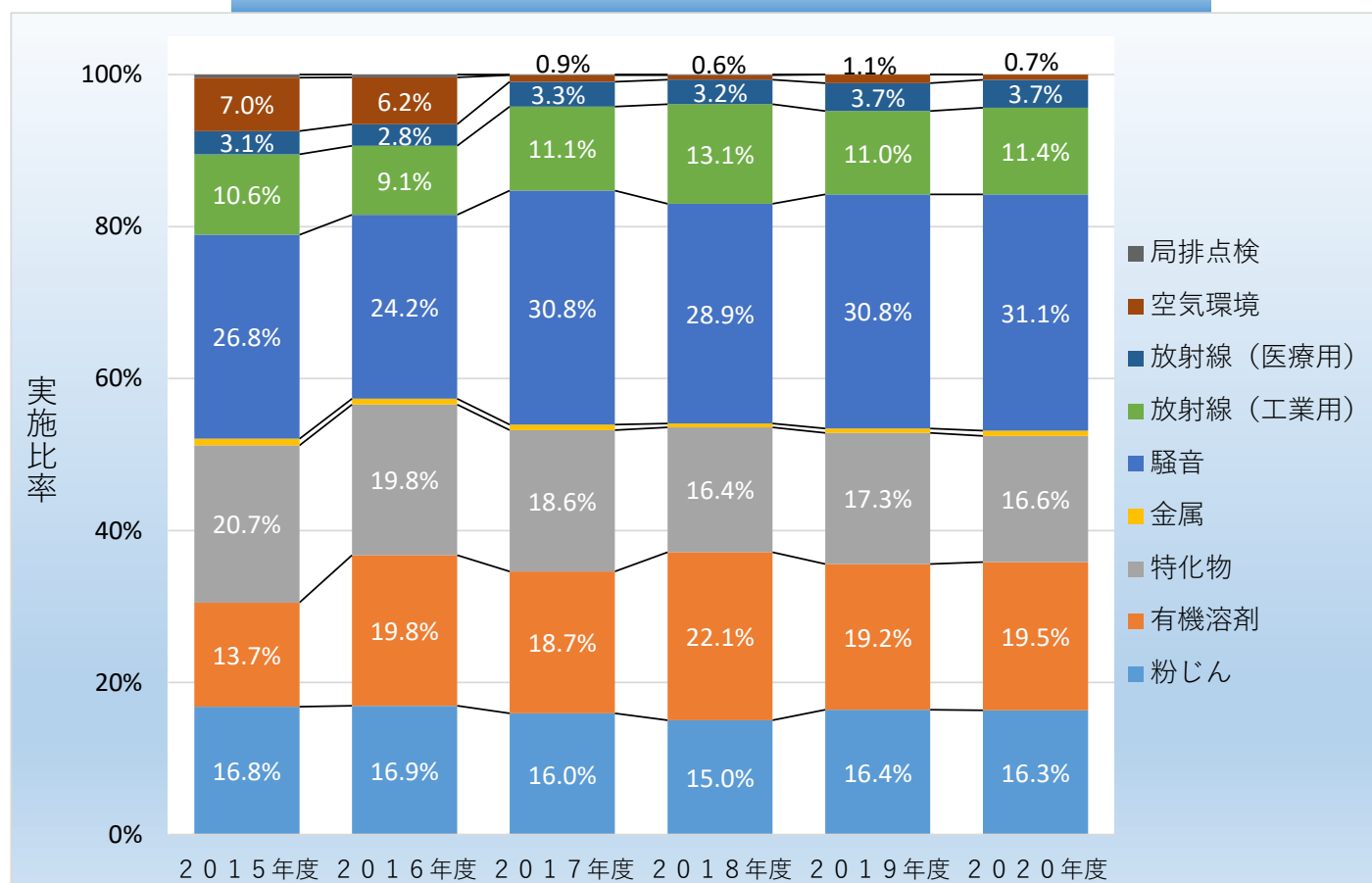
2015年度～2020年度の測定種類別の実施件数の推移



【作業環境測定種類別実施比率】

測定種類		測定実施比率					
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
粉じん		16.8%	16.9%	16.0%	15.0%	16.4%	16.3%
有機溶剤		13.7%	19.8%	18.7%	22.1%	19.2%	19.5%
特化物		20.7%	19.8%	18.6%	16.4%	17.3%	16.6%
金属		0.9%	0.8%	0.8%	0.5%	0.6%	0.7%
騒音		26.8%	24.2%	30.8%	28.9%	30.8%	31.1%
放射線	工業用	10.6%	9.1%	11.1%	13.1%	11.0%	11.4%
	医療用	3.1%	2.8%	3.3%	3.2%	3.7%	3.7%
空気環境		7.0%	6.2%	0.9%	0.6%	1.1%	0.7%
局排点検		0.4%	0.4%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%

2015年度～2020年度の測定種類別の実施比率の推移



【作業環境測定種類別管理区分件数】

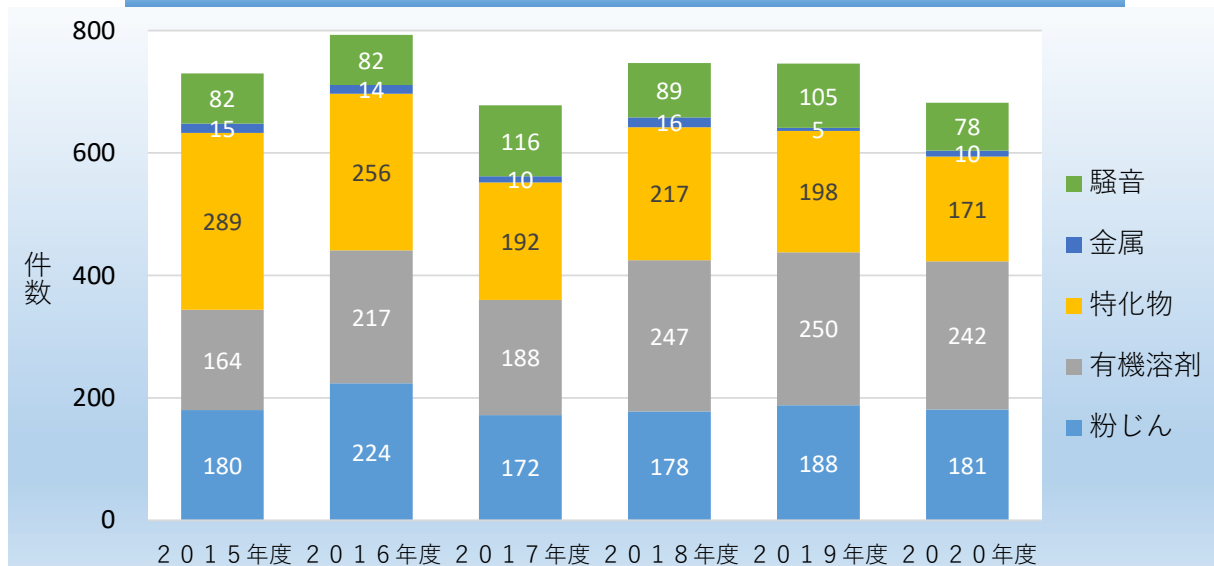
環境測定種類	第 1 管理区分					
	2 0 1 5 年度	2 0 1 6 年度	2 0 1 7 年度	2 0 1 8 年度	2 0 1 9 年度	2 0 2 0 年度
粉じん	180	224	172	178	188	181
石綿	0	0	0	0	0	0
有機溶剤	164	217	188	247	250	242
特化物	289	256	192	217	198	171
金属	15	14	10	16	5	10
騒音	82	82	116	89	105	78
合計	730	793	678	747	746	682

環境測定種類	第 2 管理区分					
	2 0 1 5 年度	2 0 1 6 年度	2 0 1 7 年度	2 0 1 8 年度	2 0 1 9 年度	2 0 2 0 年度
粉じん	6	8	8	10	4	6
石綿	0	0	0	0	0	0
有機溶剤	6	8	7	7	3	2
特化物	13	11	18	14	16	15
金属	0	0	0	0	0	0
騒音	144	154	133	142	106	150
合計	169	181	166	173	129	173

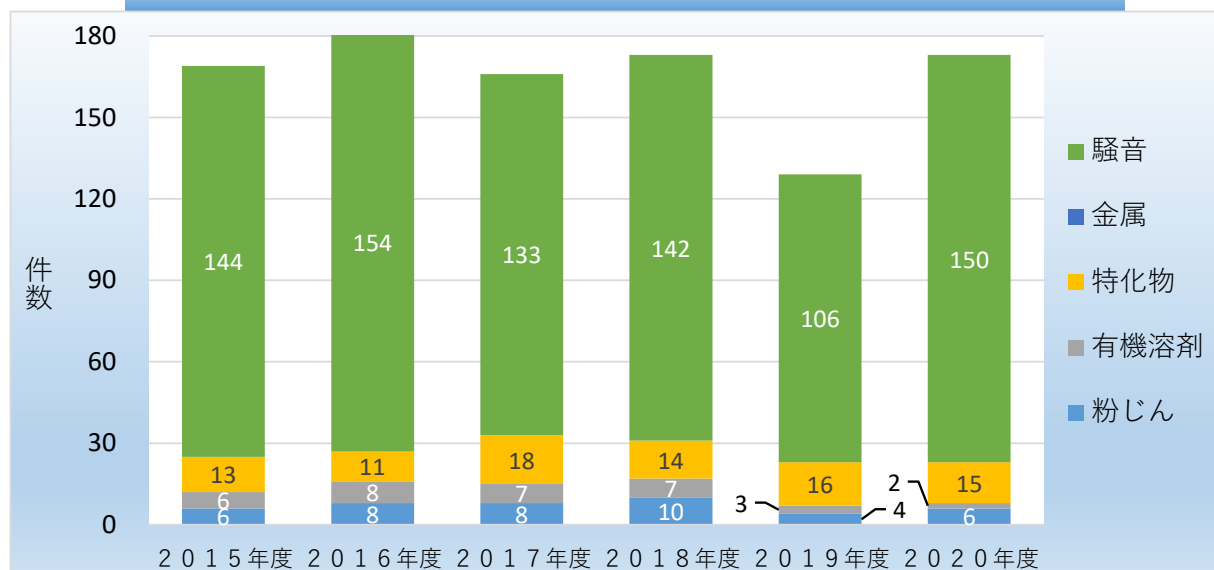
環境測定種類	第 3 管理区分					
	2 0 1 5 年度	2 0 1 6 年度	2 0 1 7 年度	2 0 1 8 年度	2 0 1 9 年度	2 0 2 0 年度
粉じん	17	7	1	1	8	5
石綿	0	0	0	0	0	0
有機溶剤	4	2	5	5	2	1
特化物	17	26	30	30	30	54
金属	0	0	1	1	0	0
騒音	251	237	241	241	258	221
合計	289	272	278	278	298	281

2 0 1 5 年度から 2 0 2 0 年度の管理区分の傾向を次ページの図に示した。

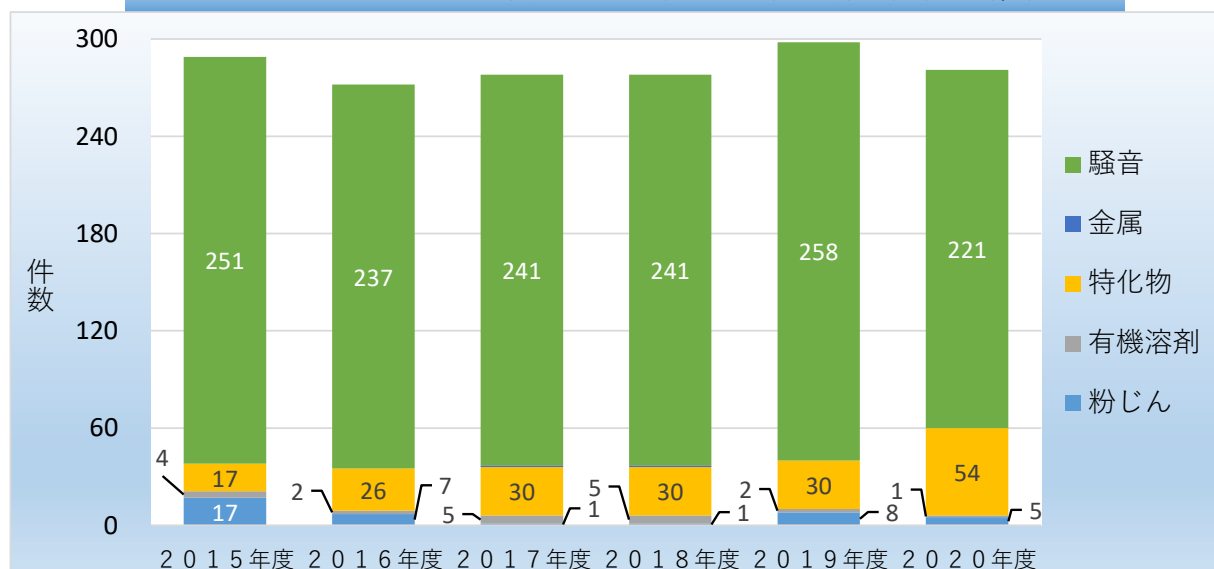
2015～2020年度の測定種別第1管理区分の推移



2015～2020年度の測定種別第2管理区分の推移



2015～2020年度の測定種別第3管理区分の推移



5. 2020年度事業概況

5. 2020年度事業概況

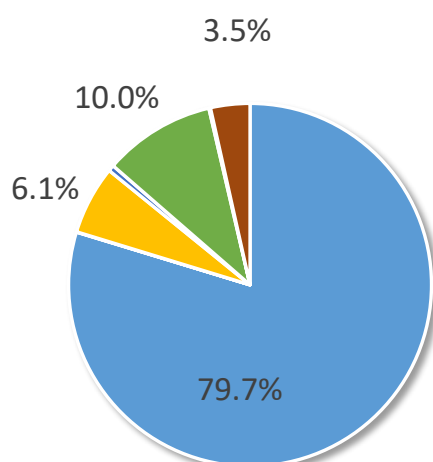
5. 1. 当センターの事業収入全般

【事業別収入実績】

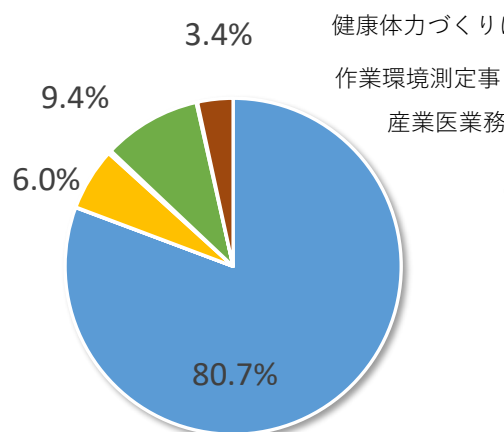
単位:千円

区分	備考	2018年度	2019年度	2020年度	収入比率	対前年度差異
(1) 健診事業		849,975	857,527	832,827	80.47%	-24,700
(2) 診療に関する事業	健康診断	316	384	-40	0.00%	-424
(3) 保健福祉に関する事業	健康診断	16	55	76	0.01%	21
(4) 労働衛生管理コンサルティング事業	産業医業務	65,327	63,785	67,922	6.56%	4,137
	労働衛生教育	5,796	3,429	1,918	0.19%	-1,511
(5) 作業環境測定事業		106,247	100,145	95,504	9.23%	-4,641
(6) その他事業		1,499	1,295	909	0.09%	-386
(7) 健康体力づくりに関する事業		37,387	36,191	35,781	3.46%	-410
合計		1,066,563	1,062,811	1,034,897		-27,914

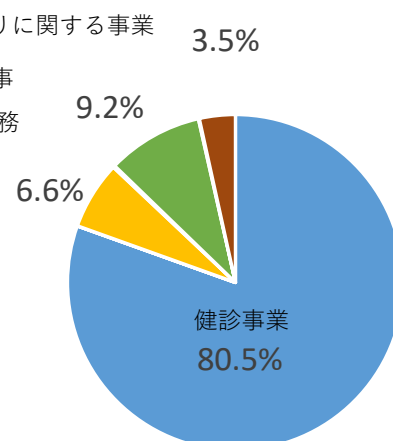
2018年度



2019年度



2020年度



○2020年度全般

①総収入は1,035百万円で前年度1,063百万円に対し28百万円減となった。

○2020年度実績の内訳と2019年度との比較

①健康診断：833百万円で80.5%を占めた。前年実績に対しては25百万円減。

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受け4月から5月の間で健診中止があった。

②作業環境測定：96百万円で9.2%を占めた。前年実績に対しては5百万円減。

③労働衛生管理コンサルティング：70百万円で6.8%を占めた。前年実績に対しては4百万増。

④健康体力づくり（公益目的実施事業）：36百万円で3.5%を占めた。前年実績に対しては2百万増。

※公益目的実施事業：財団法人（公益）から一般財団法人に移行に伴い移行時における残余財産相当を費やす公益目的事業

○2018年度から2020年度の傾向

①2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、ここ3年間の総収入は上下している。

②ここ3年度は収入比率はほぼ一定で推移している。

5. 2. 健康診断事業に関する収入

【健診場所別実績】

単位:千円

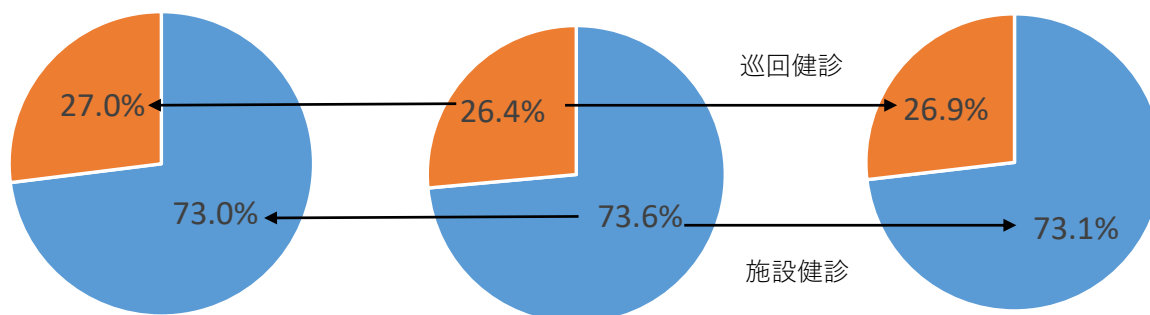
	健診顧客数			収入額			収入比率	対前年度差異
	2018年度	2019年度	2020年度	2018年度	2019年度	2020年度		
施設健診	49,037	48,871	47,242	620,727	630,755	609,170	73.14%	-21,585
巡回健診	22,109	20,701	20,047	229,248	226,772	223,657	26.86%	-3,115
合計	71,146	69,572	67,289	849,975	857,527	832,827		-24,700

【収入比率】

2018年度

2019年度

2020年度



○ 2020年度全般

① 健診事業収入は833百万円。

○ 2020年度実績の内訳と2019年度との比較

① 施設健診は609百万円で73%、巡回健診は224百万円で27%を占めた。

② 実績健診顧客数：施設健診は47,242名で対前年度1,629名減、巡回健診は20,047名で前年に対し654名減。

新型コロナウイルス感染症に伴い4月緊急事態宣言が発令、施設健診は4月13日～5月20日、巡回健診は4月13日～5月30日まで休止。

③ 施設健診並びに巡回健診における収入比率は前年とほぼ同じ割合となった。

○ 2018年度から2020年度の傾向

① ここ3年間で健診受診者数は減少する傾向がみられる。

② ここ3年間で健診収入は上下する傾向にある。

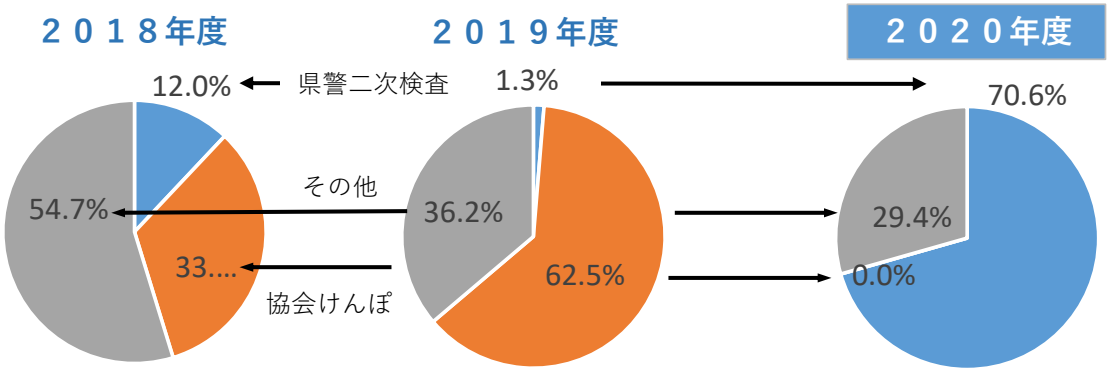
5. 3. 診療に関する事業収入

【事業別収入】

単位:千円

主な検査種類	診療顧客数			収入額（千円）			収入比率	対前年度差異
	2018年度	2019年度	2020年度	2018年度	2019年度	2020年度		
県警二次検査	9	1	4	38	5	12	70.59%	7
協会けんぽ精密検査	16	29	0	105	240	0	0.00%	-240
その他精密検査	13	9	1	173	139	5	29.41%	-134
合計	38	39	5	316	384	17		-367

【収入比率】



○ 2020年度全般

① 協会けんぽ精密検査については、同協会より検査中止の指示があり収入はゼロとなった。

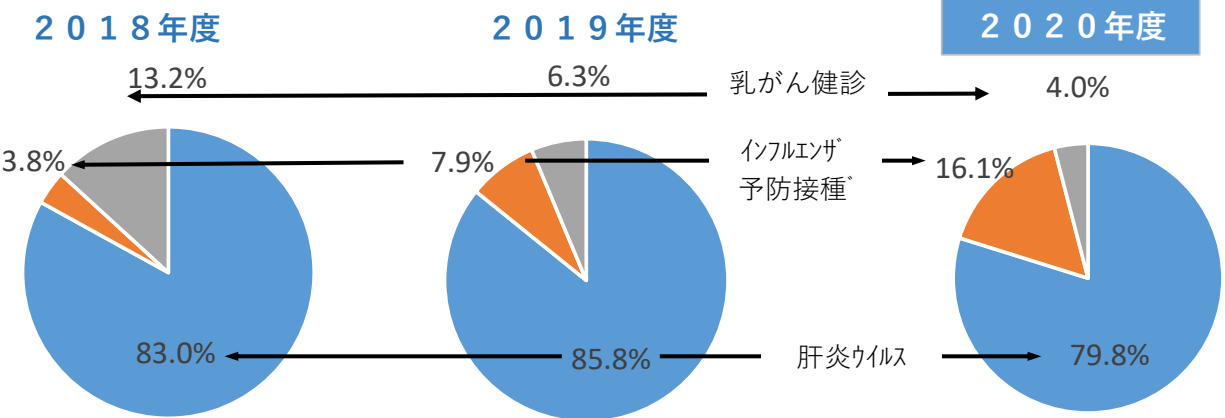
5. 4. 保健福祉に関する事業収入

【地域の方々を中心とした単独健診実績】

単位:千円

主な検査種類	検査件数			収入金額（千円）			収入比率	対前年度差異
	2018年度	2019年度	2020年度	2018年度	2019年度	2020年度		
肝炎ウイルス検査	57	92	60	352	598	376	79.83%	-222
インフルエンザ予防接種	4	1	44	16	55	76	16.14%	21
乳がん健診（クーポン券）	9	7	3	56	44	19	4.03%	-25
合計	70	100	107	424	697	471		-226

【収入比率】



○ 2020年度全般

① インフルエンザ予防接種の件数が増加するも、肝炎ウイルス検査の件数は減となり全体の収入減に影響した。

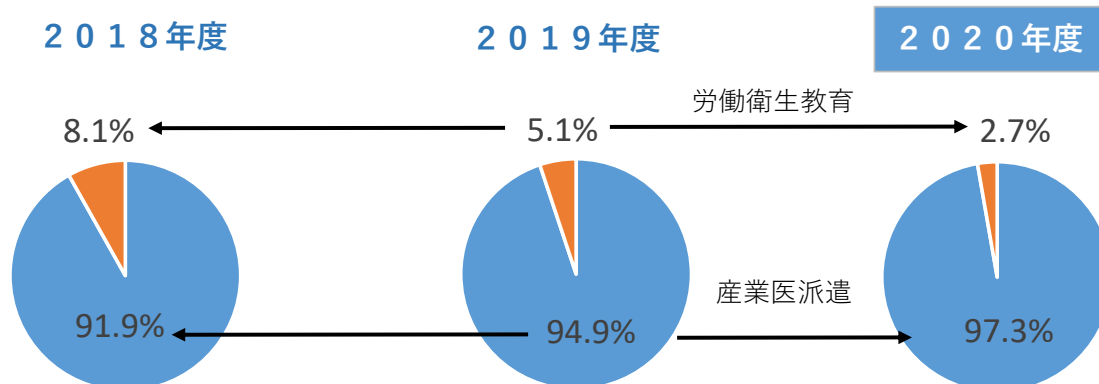
5. 5. 労働衛生管理コンサルティングに関する事業収入

【労働衛生コンサルティング実績】

単位:千円

内容	件数			収入額			収入比率	対前年度差異
	2018年度	2019年度	2020年度	2018年度	2019年度	2020年度		
産業医派遣	585	612	649	65,327	63,785	67,922	97.25%	4,137
労働衛生教育	34	29	11	5,796	3,429	1,918	2.75%	-1,511
合計	619	641	660	71,123	67,214	69,840		2,626

【収入比率】



○2020年度全般

- ①産業医契約事業所数は対前年で1件減だが産業保健サービス契約は対前年2件増となり収入は増加。
- ②労働衛生教育は新型コロナウイルス感染症により集合研修について依頼元と協議し中止したため収入は大幅減となった。

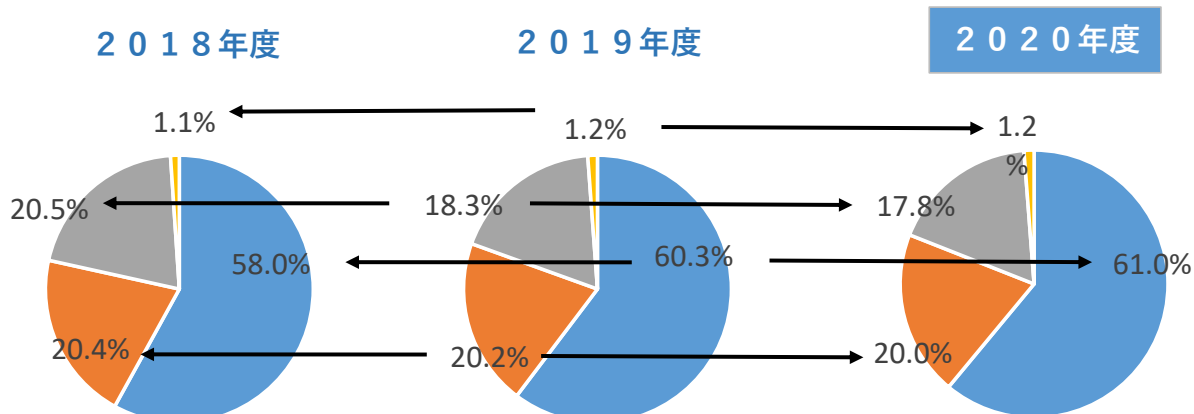
5. 6. 作業環境測定に関する事業収入

【作業環境測定実績】

単位:千円

対象事業者の種類	測定件数			収入額			収入比率	対前年度差異
	2018年度	2019年度	2020年度	2018年度	2019年度	2020年度		
君津製鉄所	900	874	844	59,092	56,198	53,821	61.02%	-2,377
製鉄所関連・協力企業	363	305	284	20,819	18,831	17,608	19.96%	-1,223
一般企業	326	288	264	20,862	17,079	15,701	17.80%	-1,378
病院（医療放射線）	53	56	53	1,079	1,085	1,070	1.21%	-15
合計	1,642	1,523	1,445	101,852	93,193	88,200		-4,993

【収入比率】



○2020年度全般

- ①測定件数の合計は種類全般で前年より減となり、収入合計も減少した。
- ②測定件数はここ3年間で減少し、収入も減少する傾向にある。

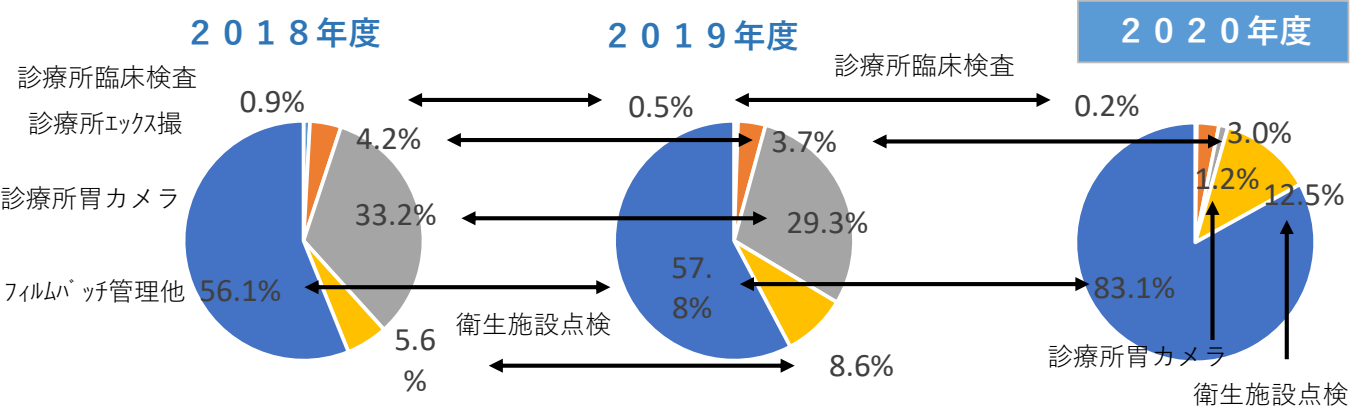
5. 7. その他の事業収入

【君津製鉄所診療所からの委託検査等の収入実績】

単位:千円

主な検査種類	検査件数			収入額			収入比率	対前年度差異
	2018年度	2019年度	2020年度	2018年度	2019年度	2020年度		
診療所臨床検査	25	11	4	13	7	2	0.22%	-5
診療所エックス線撮影	35	22	10	63	48	27	2.97%	-21
診療所胃カメラ	34	14	1	498	380	11	1.21%	-369
衛生施設点検	16	16	15	84	112	114	12.54%	2
フィルムバッチ管理 他	12	12	12	841	748	755	83.06%	7
合計	122	75	42	1,499	1,295	909		-386

【収入比率】



○ 2020年度全般

- ①検査合計件数は診療所胃カメラが新型コロナウイルス感染症により中止となった影響から大幅に減少した。
- ②そのため収入も約90万円に留まり、前年に対し約4百万円減少した。

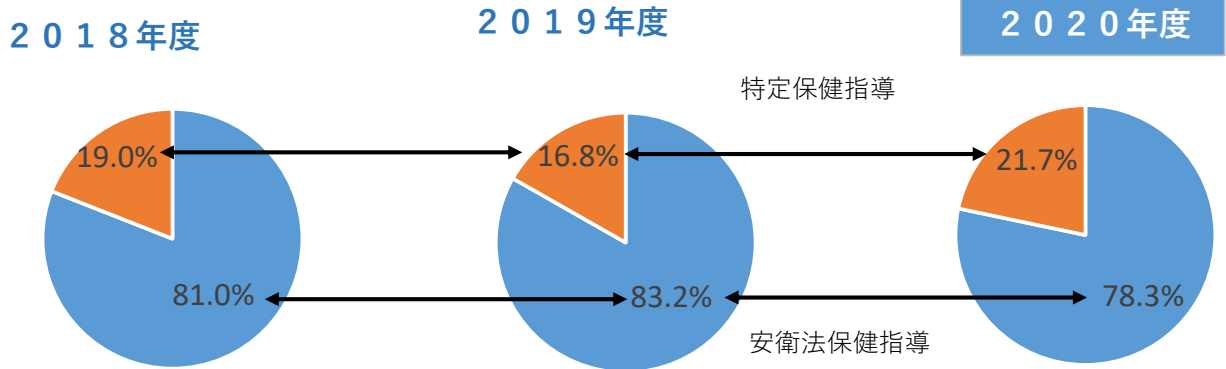
5. 8. 健康体力づくりに関する事業収入

【健康体力づくりに関する収入実績】

単位:千円

区分	内容	件数			収入額			収入比率	対前年度差異
		2018年度	2019年度	2020年度	2018年度	2019年度	2020年度		
保健指導	(個人指導)	988	841	566	30,273	30,122	28,012	78.29%	-2,110
	(書面指導)	4,270	4,912	4,803					
	(集団指導)	80	101	20					
栄養指導	(個人指導)	151	152	128					
	(書面指導)	72	59	96					
	(集団指導)	4	1	0					
運動指導	(個人指導)	0	0	0					
	(書面指導)	218	211	224					
	(集団指導)	23	18	1					
安衛法に基づく保健指導合計		5,806	6,295	5,838	30,273	30,122	28,012	78.29%	-2,110
特定保健指導 (初回面談者数)		395	333	476	7,114	6,069	7,769	21.71%	1,700
合計		6,201	6,628	6,314	37,387	36,191	35,781		-410

【収入比率】



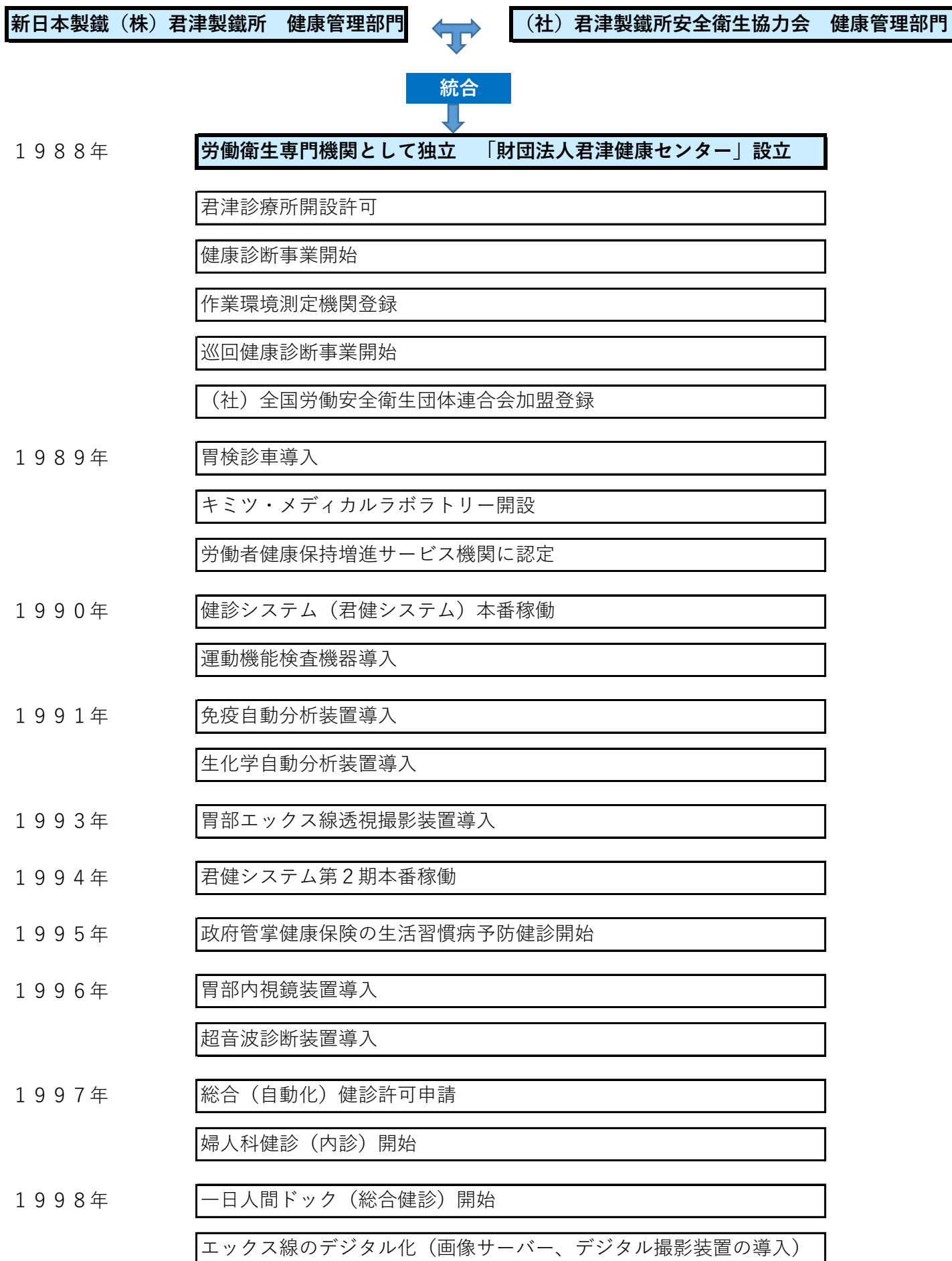
○ 2020年度全般

- ①指導合計件数は対前年度で減少した。安衛法の指導では対面となる個人指導件数が前年より大幅に減少。
- ②収入については、安衛法の指導で保健師契約の解約と新規契約の差額等により減少したが、特定保健指導の件数増による収入増があり昨年並みの収入合計となった。

6. 法人の概要

6. 法人の概要

6. 1. 当センターの沿革



2000年	君健システム第3期本番稼働
2001年	腫瘍マーカー検査開始
	「労災二次健診給付」医療機関指定申請（千葉県労働局）
2003年	頸部超音波検査開始
2004年	ペプシノゲンⅠ・Ⅱ検査開始
	ディーゼル車排ガス規制（センター社用車装置取付け）
2005年	施設健診予約制運用開始
2006年	マンモグラフィ（乳がん検診）装置導入
	メタボリックシンドロームモデル事業（千葉県）
	キミツ・メディカルラボラトリー閉設
2008年	創立20周年
2012年	一般財団法人君津健康センターに移行
2013年	胃部内視鏡システム更新
2014年	生化学自動分析装置更新
	エックス線デジタル画像管理サーバー更新
	血液分析装置更新
	健康診断にICカードを導入
2015年	胃検診車更新
	多項目自動血球分析装置更新
	胃部エックス線デジタル撮影装置更新
	君健基幹システム本体更新
2016年	マンモグラフィデジタル撮影装置更新
	胸部エックス線検診車更新
2017年	胃部エックス線デジタル撮影装置更新
2018年	君健システム本体更新
	臨床検査システム本体更新
	創立30周年

6. 2. 事業登録・事業指定

(1) 事業登録

登録内容	登録機関	備考
① 一般財団法人 君津健康センター	千葉県	政法指令第3005-1
② 君津健康センター 君津診療所	千葉県	木保指令第4号の2
③ 作業環境測定機関	千葉労働局	発基第1831号
④ 船員の健康証明を行う医師（機関）	国土交通省	関員基1831号
⑤ 健康診断機関	中央労働災害防止協会	第1-12-05号
⑥ 作業環境測定機関	中央労働災害防止協会	第2-12-05号
⑦ 労働者健康保持増進サービス機関	中央労働災害防止協会	第1-24号
⑧ 総合精度管理事業参加機関	（公財）全国労働衛生団体連合会	
⑨ 労働衛生サービス機能評価	（公財）全国労働衛生団体連合会	認定第10号
⑩ 臨床検査精度管理事業参加機関	（公社）日本医師会	
⑪ 優良総合健診施設認定	（一社）日本総合健診医学会	第367号A
⑫ 労働災害保険指定医療機関（保険医療機関）	千葉労働局	
⑬ 労働災害保険二次健診等給付医療機関指定	千葉労働局	

(2) 事業指定

指定内容	指定機関	備考
① 人間ドック（総合）健診実施施設指定	（一社）日本病院会	第243号
② 生活習慣病予防健診指定機関	健康保険組合連合会千葉連合会	
③ 協会けんぽ、生活習慣病予防健診実施機関	全国健康保険協会千葉支部	
④ 国民健保「短期人間ドック事業」健康診断実施機関	君津市、木更津市	
⑤ 老人健康診査協力医療機関	君津、木更津、袖ヶ浦、富津市	
⑥ インフルエンザ予防接種協力医療機関	君津、木更津、袖ヶ浦、富津市	
⑦ 特殊健康診断実施機関	（公財）日本産業医学振興財団	
⑧ 労働衛生機関評価機構	（公社）全国労働衛生団体連合会	

6. 3. 役員について・職員について

(1) 役員について

【評議員】

2021年4月1日現在

役職	氏名	担当職務・現職
評議員	竹内 正守	日本製鉄（株）東日本製鉄所 労働・購買部長
評議員	金井 達生	日本製鉄（株）東日本製鉄所 安全環境防災部長
評議員	玉作 朋之	東日本製鉄所君津地区協力会 副会長 日鉄テックスエンジニア（株） 君津支店長
評議員	日野 千博	東日本製鉄所君津地区協力会 副会長 山九（株） 君津支店長
評議員	中村 圭一	東日本製鉄所君津地区協力会 理事 濱田重工（株） 常務執行役員君津支店長

【監事】

役職	氏名	担当職務・現職
監事	木村 欣晃	日本製鉄（株）東日本製鉄所 安全環境防災部 安全健康室長
監事	高梨 順一	東日本製鉄所君津地区協力会 常務理事・事務局長

【理事】

役職	氏名	担当職務・現職
理事	三浦 正巳	（一財）君津健康センター 理事長 代表理事
理事	小柳 健	（一財）君津健康センター 常務理事・事務局長 業務執行理事
理事	赤星みどり	（一財）君津健康センター 医務局長 医務局長兼理事
理事	小関 常雄	日本製鉄（株）東日本製鉄所 総務部 君津庶務室長 外部理事
理事	木村 直昭	日本製鉄（株）東日本製鉄所 労働・購買部 労政人事室長 外部理事
理事	山瀧 一	（一財）君津健康センター 産業保健部長 産業保健部長兼理事

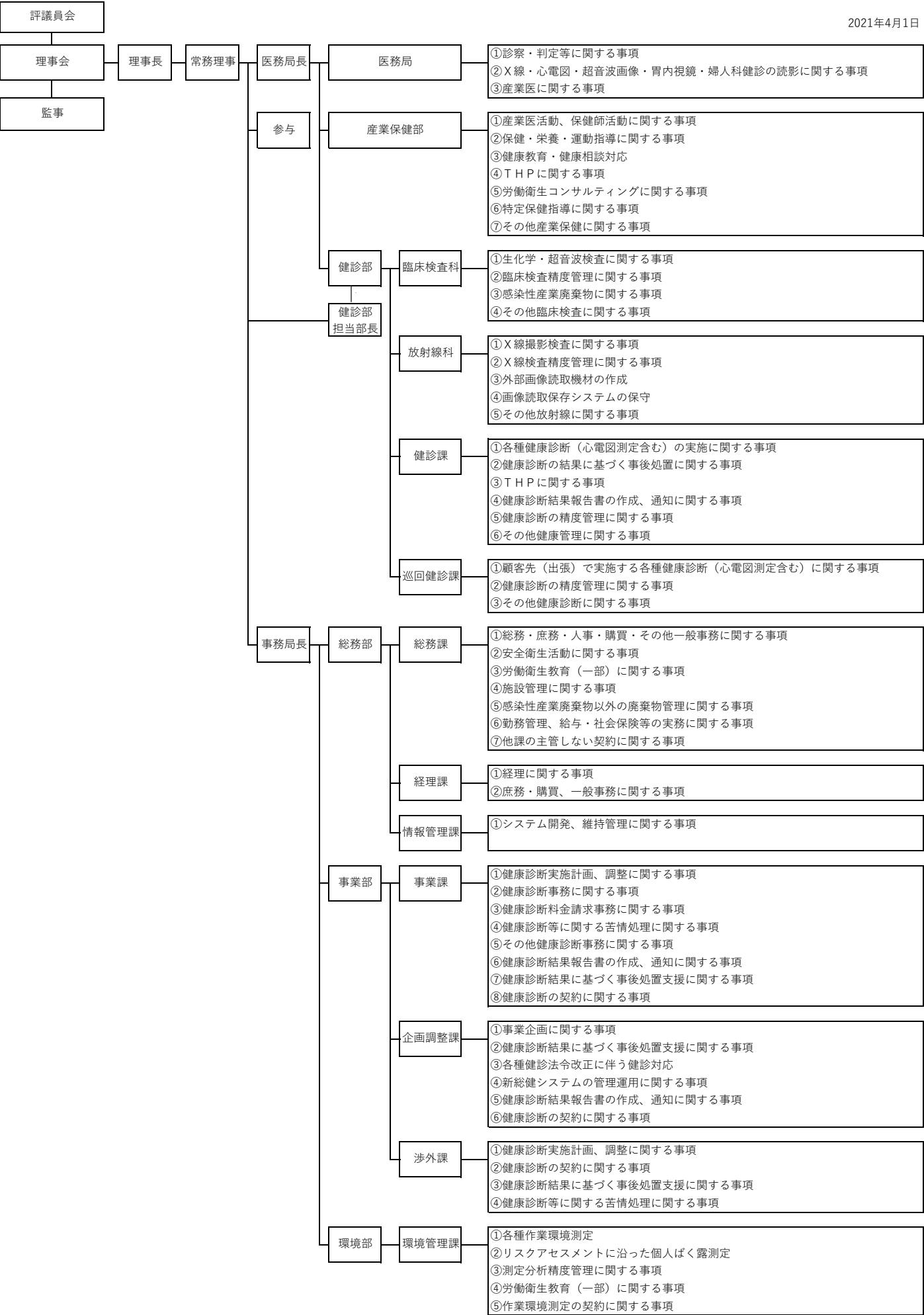
(2) 職員について

2021年4月1日現在

	職 員	応援医師	准職員 ※	パート ※	計	前年同時期	差異
男子	32	7	1	0	40	47	-7
女子	55	3	9	12	79	73	6
合 計	87	10	10	12	119	120	-1

※ 准職員（30時間/週以上）、パート（30時間/週未満） ネットワーク登録スタッフ（不定期雇用）16名は含まず

6. 4. 組織機構と業務分掌



2021年4月1日



K
2020

